

第2次学都松本子ども読書活動推進
計画報告書
子どもと本をつなぐまち



令和7年3月
松本市図書館

目 次

I	はじめに	1
II	第2次計画における取組みの成果、課題	2
1	環境整備の取組み	2
2	人材育成の取組み	5
3	連携体制の取組み	8
4	数値目標	8
5	関係施設・機関のアンケートについて	8
6	今後の推進体制	10
III	子ども読書活動推進実施施策	12
参考資料		
1	関係法令等	17
	○子どもの読書活動の推進に関する法律	17
	○図書館法（抜粋）	19
	○学校図書館法	21
2	検証・調査資料	23
	○セカンドブック事業アンケート	25
	○サードブック事業アンケート	39
	○関係施設・機関アンケート	47

はじめに

松本市では、子どもの権利に関する条例で「すべての子どもにやさしいまち」の実現を目指し、全庁を挙げて取り組んでいます。また、教育委員会では、「第3次松本市教育振興基本計画」を策定し、「学びに、遊びや体験を。生涯を通じた学びを保障する松本まると学都構想」を掲げ、それぞれの子どもたちの個性を伸ばす教育を進めています。

これらの計画との整合性を図りながら、子どもの健やかな成長を目指して平成25年10月に「学都松本子ども読書活動推進計画」、平成31年2月に「第2次学都松本子ども読書活動推進計画」を策定し、読書環境の整備と読書活動の推進に取り組んできました。

第1次計画では、学校司書の市費雇用による学校図書館機能の充実、図書館や子どもの身近な施設等での図書資料の充実、読み聞かせボランティアの増加などの一定の成果を収めることができ、第2次計画ではさらに、子どもの読書環境の充実を図り、平成31年4月から「セカンドブック事業」、令和5年5月から「サードブック事業」を開始しました。

また、読書案内人（絵本専門士などの有資格者）、子ども読書活動推進サポーターによる子ども読書活動の推進、読み聞かせボランティアの養成などの人材育成、学都松本子ども読書活動推進委員会の設置などの連携のための体制づくりなど、一定の成果を収めることができました。

この報告書では、第2次計画の期間が満了を迎えたことから、関係施設・機関にアンケートを行い、子どもの読書環境の状況を調査し、計画の3本の柱「環境整備」「人材育成」「連携体制」について検証を行っています。

第2次計画以降は、文部科学省の事務連絡により、上位計画である「松本市教育振興基本計画」に移行することとしましたが、第2次計画の検証結果を踏まえて、子どもたちの未来に向けた成長をともに考え、実現していくため、市の関係機関を始め、家庭・地域・民間団体の連携・協力体制を一層強化して、子どもの読書活動の推進に取り組んでいきたいと考えます。

令和7年3月

松本市図書館

第2次計画における取組みの成果、課題

第2次計画「子どもが自由に読書を楽しみ、未来を拓く豊かな心と生きる力を育むために」の基本方針に基づき、子どもの読書活動を支える3本の柱「環境整備・人材育成・連携体制」の取組みの検証・成果と課題は、以下のとおりです。

1 環境整備の取組み

読書の習慣が身に付くよう、子どもの身近な場所で、発達段階に応じた切れ目ない読書への関心を高める取組み、読書の楽しさや読書の幅を広げるきっかけを増やし、読書活動を広げ、読書体験を深める機会の提供、豊かな想像力、読解力、思考力、表現力及び創造力を育むために、主体的で自由な読書の楽しさ、調べることの面白さや知ることの喜びを体得する読書活動を推進しました。

(1) ブックススタート

ブックススタートとは、「絵本」を仲立ちにして、親子のふれあいを深めるきっかけをつくるために、赤ちゃんに絵本をプレゼントする運動のことです。

松本市では平成13年から事業が始まりました。

松本市は10カ月健診の赤ちゃんに絵本を1冊と、絵本リスト「こんにちはえほん」をプレゼントしています。

ブックススタート配布数（平成31年度～令和5年度）（単位：冊）

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1,798	1,613	1,394	1,633	1,588

第2次計画策定時におけるブックススタートアンケートにおいても、ブックススタート絵本のプレゼントは好評を得ており、すでに利用している方も含めて回答数の半分以上は、図書館を利用するきっかけに繋がっています。

(2) セカンドブック

3歳はいろいろなことに興味を持ち始める時期です。お子さんが自分で選んだ絵本を親子で一緒に読んで、楽しさを共有することで、お子さんの好きなことや世界が広がっていくことを目的として、3歳児健診時に絵本を1冊と絵本リスト「なかよしえほん」をプレゼントする「セカンドブック事業」を平成31年度から開始しました。

セカンドブック配布数（平成31年度～令和5年度）（単位：冊）

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1,970	1,575	1,635	1,652	1,798

令和５年度にはセカンドブックを導入した初年度に該当したお子さんの保護者にアンケートを行いました。（まとめは検証・調査資料２３Ｐ～３６Ｐのとおり）

調査期間	令和５年６月１３日～令和５年６月３０日
調査対象者	導入初年度（令和元年度）３歳児健診該当者（平成２８年４月２日～平成２９年４月１日生まれ）の保護者
調査方法	松本市内の小学校（市立のみ）に通う１年生の保護者に学校の連絡アプリ「ホーム&スクール」からアンケートを依頼
調査対象数	１,８６６人（松本市立小学校１年生児童数）
回答数	１,００６人
回答率	５３．９％

【検証・課題】

アンケートの調査から、セカンドブックの絵本のプレゼントについては「思い出の絵本になった」「絵本のプレゼントがとても嬉しかった」など、好評なご意見が多かったです。

一方で、絵本のプレゼントは図書館の利用のきっかけに繋がったかどうかについては、もらって良かったと回答した方の中でも、約４４％の方が利用していないとの回答でした。図書館が近くになかったり、小さな子どもを連れての図書館利用に遠慮があるなどの理由で利用していない方への働きかけが今後の課題です。

(3) サードブック

小学校１年生となる６歳頃は、そろそろ学校での学習が始まる時期になり、読んでもらう方から、自分で読むひとり読みへの移行期になります。

令和５年度から、中学生までの読書習慣の基盤を形成するため、また読書を通じて、読解力や想像力、思考力、表現力等を養い、多くの知識を得たり、多様な文化を理解することができるようになるために、小学校１年生の身近な場所である学校の教室に、学級文庫としてブックセット（わくわくブック）を設置しました。

ア 対象

松本市立小学校 １年生

イ 内容

対象小学校に通う１年生に、１セット３５冊程度のブックセットを３種類用意し、下記の学校規模に応じて学級文庫としてブックセットを配置

〈学校規模〉

新１年生の総人数	配布セット数
１００人以上の小学校	３セット
５０人以上１００人未満	２セット
５０人未満	１セット

※クラス数が配布セット以上の学校は、ブックセットを均等になるようクラス数に分けて配置する。(専用ケースはクラス数用意)

ウ 設置状況

小学校	セット		学級数	児童数	小学校	セット		学級数	児童数
開智小学校	A・B	2	3	94	岡田小学校	A・B	2	2	54
源池小学校	A	1	1	31	山辺小学校	A・B・C	3	3	109
筑摩小学校	A・B	2	2	61	今井小学校	A	1	1	31
旭町小学校	A・B	2	2	52	開明小学校	A・B	2	3	91
田川小学校	A	1	2	43	明善小学校	A・B	2	2	58
鎌田小学校	A・B・C	3	4	127	本郷小学校	A・B	2	2	58
清水小学校	A・B	2	3	96	二子小学校	A	1	1	38
島内小学校	A・B・C	3	4	129	並柳小学校	A	1	2	42
中山小学校	A	1	1	17	四賀小学校	A	1	1	18
島立小学校	A・B	2	2	53	安曇小学校	A	1	1	5
芝沢小学校	A・B	2	2	68	大野川小学校	A	1	1	2
菅野小学校	A・B	2	3	81	奈川小学校				
芳川小学校	A・B・C	3	4	126	梓川小学校	A・B	2	3	98
寿小学校	A・B・C	3	4	114	波田小学校	A・B・C	3	5	170

※令和5年5月に27校へ51セットを設置しました。(次回更新は令和8年度)

※奈川小学校は新1年生の入学者がなかったため未設置(令和6年度に設置)

令和6年1月、設置小学校の1年生の担任および司書教諭・学校司書の先生にサードブック事業のアンケートを行いました。(まとめは検証・調査資料37P～44Pのとおり)

調査期間	令和6年1月
調査対象者	松本市立小学校1年生担任および学校教諭・学校司書
調査方法	各学校にメールで依頼 (回答は庁内メール便またはFAX、Eメール)
調査小学校数	27校(奈川小学校は1年生がいないため除く)
回答数	27校 回答率 100%

エ 検証・課題

サードブックを学級文庫として、小学校1年生の学級に設置したことについて、アンケートの意見を見ると、子どもたちが新しい本を喜んで読んでいること、学校の授業や読み聞かせなどに、現場で本を活用してもらっている意見が多かったので、おおむね好評であると判断できます。

3年ごとにブックセットの内容を見直し、更新していく予定のため、次回の見直し時には、今回のアンケートの意見を踏まえ、先生の意見を反映しながら、ブックセットの選書に活かします。

サードブック本の修理については、学校司書とも連携し、効率的に行える方法を

検討する必要があります。

サードブックを活用した取組みについても、学校と連携し検討していきます。

(4) 初めてのパパママへの応援

これから赤ちゃんを迎えるパパ・ママに向けて、おなかの中の赤ちゃんに絵本をとおして優しく語りかけ、心穏やかな時間を過ごせるように、また、赤ちゃんが生まれたとき、赤ちゃんに最初に読んであげたいおすすめ絵本を紹介する「これから赤ちゃんを迎えるママ・パパのための BOOK LIST」を作成し、館内での配布と図書館ホームページに掲載しています。

(5) 中・高校生への働きかけ

中高校生（ヤングアダルト）向けに、「TEEN'S LIST（ティーンズリスト）」として、図書館司書と読書案内人（絵本専門士などの有識者）で、おすすめ本のリストを作成しました。第1弾から第3弾まで作成し、図書館で配布しています。

また、図書館ホームページに「TEEN'S PAGE（ティーンズページ）」として、中高校生向けのコーナーを作成し、リストの掲載や電子図書館の案内などの情報発信をしています。

2 人材育成の取組み

本市全体で子ども読書活動を推進するために、子どもの読書活動の意義や重要性について市民に広く普及・啓発を図るとともに、子どもの読書活動に関わる人への情報・知識の提供や研修の機会を拡大、強化し、活動を支え、子どもと本とをつなぐ人材を育てるための事業を推進しました。

(1) 読書案内人

松本市読書案内人は、第2次学都松本子ども読書活動推進計画に基づき、地域の中から子ども読書活動に意欲的に関わる人材の育成などに携わり、子どもの本や読書活動推進に関する専門知識を持った民間の有識者で、読み聞かせボランティア養成講座や子ども読書活動スキルアップ養成講座の講師を務めました。

また、学都松本子ども読書活動推進委員会の作業部会での活動にも携わりました。

ア 作業部会

ブックスタート配布絵本選定、絵本リスト（こんにちはえほん）の改訂、セカンドブック配布絵本の選定、絵本リスト（なかよしえほん）の改訂、サードブックセットの選定、リスト（わくわくブック）の作成、中高校生（ヤングアダルト）向けおすすめ本リスト（TEEN'S BOOK）の選定に、専門知識を活かした読書案内人（有識者）の意見をもらいながら事業を進めました。

作業部会開催回数一覧

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
開催回数	１回	３回	２回	３回	３回
内容	・ブックスタート事業について	・ブックスタートの候補本選定について ・こんにちえほんの改訂について ・中高生への働きかけについて	・サードブック事業について ・中高生への働きかけについて	・サードブック選定について（３回）	・中高生への働きかけについて ・セカンドブック配布絵本、絵本リスト「なかよしえほん」の見直しについて

(2) 読み聞かせボランティア養成講座

本計画に基づく事業の実施に必要なスキルを身につけるため、読み聞かせボランティア養成講座を開催し、養成講座修了者のうち希望者を、松本市読み聞かせボランティアとして登録し、おはなし会などの活動を行いました。

読み聞かせボランティア養成講座開催回数

※連続受講講座（全６回）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
開催回数	６回	６回	６回	６回	６回
内容	第１回 読み聞かせの基本 第２回 読み聞かせの実際 第３回 あそびうた・わらべうた 第４回 様々なおはなしの手法 第５回 おはなし会プログラム 第６回 グループ発表				
定員	５０名	２０名	１０名	１５名	１５名
参加人数	１９３人	１０５人	６３人	８１人	８１人

※参加人数は延べ人数

松本市読み聞かせボランティアとして登録した方は、中央図書館から提供された場所（図書館の定例おはなし会など）で、おはなし会や読み聞かせの活動を行っています。

また、中央図書館では毎週水曜日の定例おはなし会で職員とボランティアによる共同のおはなし会のほかに、秋の読書週間などにボランティアの有志のみによる臨時おはなし会を開催しています。

(3) 子ども読書活動スキルアップ講座

子どもを本の世界へ誘うための子どもの読書活動について、一緒に考えながら、さまざまな対象年齢に応じた読み聞かせなどのスキルアップを目指す講座を年４回、開催しました。

スキルアップ講座開催内容

年度	開催日	内容	定員	参加人数 ※延べ人数
令和元年度	令和元年 12月13日	わらべうた・あそびうたと絵本	各回 40名	57人
	令和2年 1月20日	絵本からひとり読みへ		71人
	令和2年 2月8日	絵本から見る多文化・異文化理解		47人
	令和2年 2月22日	YA（ヤングアダルト）文学への招待		43人
令和2年度	令和2年 11月15日	小中学校での読み聞かせ	各回 50名	42人
	令和2年 12月13日	学校図書館での取り組み		41人
	令和3年 1月16日	絵本でSDG, sを考える		35人
	令和3年 2月6日	小・中学校でのブックトーク		35人
令和3年度	令和3年 11月21日	支援の必要な子どもたちと読書	各回 40名	47人
	令和3年 12月25日	乳幼児読み聞かせスキルアップ		30人
	令和4年 1月15日	本を紹介する技術		21人
	令和4年 3月12日	語り・ストーリーテリング入門		22人
令和4年度	令和4年 10月15日	乳幼児読み聞かせスキルアップ	各回 40名	29人
	令和4年 11月20日	子どもの本から平和・未来を考える		24人
	令和4年 12月25日	詩・ことばあそび・うたあそびを取り入れて		23人
	令和5年 1月21日	わたしたち、子どもの本の応援団		27人
令和5年度	令和5年 11月6日	自治体におけるブックスタート・セカンドブック事業について	各回 40名	22人
	令和5年 11月20日	公共図書館と学校がつながる		21人
	令和5年 12月3日	語り・ストーリーテリング入門		28人
	令和6年 1月13日	本を紹介する技術		35人

(4) 子ども読書活動推進サポーター

松本市読み聞かせボランティアに登録し、一定の以上のおはなし会などの経験を持ちなおかつ、子ども読書活動スキルアップ講座を2年間で4回受講した者のうち、希望する者を第2次学都松本子ども読書活動推進計画に基づく「松本市子ども読書推進サポーター」として登録しました。

「松本市子ども読書推進サポーター」は、図書館職員と一緒に子ども読書活動推進のための活動（ブックスタート・セカンドブック事業の支援）を行っています。

3 連携体制の取組み

第2次学都松本子ども読書活動推進計画に基づき、令和元年度に学都松本子ども読書活動推進委員会を設置し、本市の子ども読書活動の推進に携わって、計画を進めてきました。

今後も子どもの読書活動の推進を検討しながら進めていくために、委員会を年2回程度、作業部会を年2～3回程度開催する予定です。

委員会・作業部会開催実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委員会	2回	2回	2回	2回	3回
委員会（作業部会）	1回	3回	2回	3回	3回

4 数値目標

	項 目	事業概要	(H29)	(R5)	目標
1	おはなし会開催回数	子どもや保護者に、楽しい本の世界を紹介するため、中央図書館及び各分館で定期的に実施しているおはなし会の開催回数を拡大	323回	231回	400回
2	子ども読書カードの発行団体数	教材や読み聞かせ等で子どもが本にふれられるように、子ども読書活動推進に関係する施設や団体等に子ども読書カードを発行	194団体	209団体	240団体
3	子ども読書推進サポーター	図書館職員と協働して地域の読書活動を推進するため、読書ボランティアのうち養成講座修了者を子ども読書推進サポーターとして登録	—	11人	50人
4	3歳児健診時の読み聞かせ実施箇所	「本にふれる機会」、「読み聞かせにふれる機会」として、全保健センターにおける3歳児健診の待ち時間を利用した読み聞かせの拡大	1カ所 (中央保健センター)	1カ所 (中央保健センター)	4カ所
5	学校司書の司書資格保有率	公立小中学校における学校司書の司書資格保有率の向上	64%	82%	100%

第2次計画策定後の2020年からの新型コロナウイルス感染症対策により、図書館をはじめとする公共施設の休館や、感染対策などの影響もあり、数値目標を達成するには厳しい状況が続きました。

コロナ禍の制限も徐々に緩和されつつあるため、今後も引き続き、子どもの読書活動推進を推し進めていきます。

5 関係施設・機関アンケートについて

第2次計画策定時にアンケートを依頼した関係施設や機関に再度アンケートを依頼し、

計画策定時の平成31年度と計画満了期間の令和5年度の時点において、子どもの読書環境の状況を調査しました。

第2次計画期間中はコロナ禍の影響が大きいことが伺えます。（まとめは検証・調査資料 45P～59Pのとおり）

(1) 調査期間

令和5年6月5日～令和5年6月30日

(2) 調査方法

関係各課、関係施設および機関にアンケートデータを送付してアンケートを依頼

(3) 対象施設・回答数・回答率

依頼先	施設数	回答施設数	回答率(%)	備考
小学校	28	28	100.0	
中学校	20	18	90.0	※安曇・大野川・奈川は小中学校として回答
保育園・幼稚園	44	36	81.8	保育園41・幼稚園3 ※錦部保育園・奈川保育園は休園中のため除く
児童センター等	36	12	33.3	児童センター23・児童館4・放課後児童クラブ5・こどもプラザ4
保健センター	4	4	100.0	南部・西部・北部・中央
公民館	36	15	41.7	

(4) 検証

コロナ禍もあったため、各施設の読み聞かせの回数など全体的に、前回調査より下がっている傾向が見られました。

学校図書館向けのサービス（団体貸出用セット本、子ども読書カードの利用、図書館除籍本（リサイクル本）の活用）として、図書館除籍本（リサイクル本）の活用については、毎年事前に施設配布を行い周知しているので、利用している学校が半数程度ありますが、団体貸出用セット本および子ども読書カードについて、周知してはいるものの、利用が少ないため、引き続き利用の働きかけを行う必要があります。

また、小中学校用の子ども読書カードの利用について、貸出期間の延長（現在は2週間）、予約の件数の増加（現在は20点）をしてもらえると嬉しいという意見がありました。

6 今後の推進体制

(1) 上位計画への移行

ア 本市では、平成25年に第1次子ども読書活動推進計画、平成31年に第2次子ども読書活動推進計画を策定し、「環境整備」「人材育成」「連携体制」の3つの柱を基本方針として子どもの読書活動の推進に努めてきました。

令和元年には計画をより着実に推進するため、学都松本子ども読書活動推進委員会(以下「委員会」という。)を設置し、委員が絵本リストの本の選定を行うなど、実務的な作業も担っています。こうした活動の下に、令和5年度にはサードブック事業をスタートさせ他市を先行する事業が実施できています。

一方で、県や市町村の負担軽減のため、上位計画への位置付けが認められた(令和4年12月28日付け文部科学省総合教育政策局地域学習推進課事務連絡)ことから、この事務連絡に基づき、次期計画を上位計画である「松本市教育振興基本計画」へ移行することとしました。今後は「松本市教育振興基本計画」に基づき、子ども読書活動を推進していきます。

※ 事務連絡取扱い内容

「教育振興基本計画等の計画を定めており、その中の子どもの読書活動の推進に関する部分が推進計画に該当すると地方公共団体の長が判断した場合は、当該部分をもって推進計画に代えることができる。

イ 移行する理由

(ア) 令和4年に策定した「第3次松本市教育振興基本計画」では、子どもを主人公に「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」を実現することとしており、その個別分野の中で、推進計画で進めてきた事業が主要事業として位置付けられており、主要事業については毎年見直しが行われるため、必要な事業については随時追加していけること。

(イ) 学都松本子ども読書活動推進委員会からは上位計画移行後も「委員からの意見や、市民と協働しながら、学校、保育園、社会教育施設の方々と子ども読書を語って考えていく場は担保してほしい。」と意見があったこと、かつ具体的な作業も行う必要があることから、今後も継続して活動していくこと。

以上を踏まえ、本市では、教育振興計画を上位計画として代えることとするものです。

(2) 今後の子ども読書活動推進の方針

ア 子どもの読書活動の推進は引き続き中央図書館が事務局となって取り組みます。

イ 委員会は、ブックスタート等の絵本リストの見直し等、子どもの読書活動推進の一翼を担っているため、現行の体制を継続します。

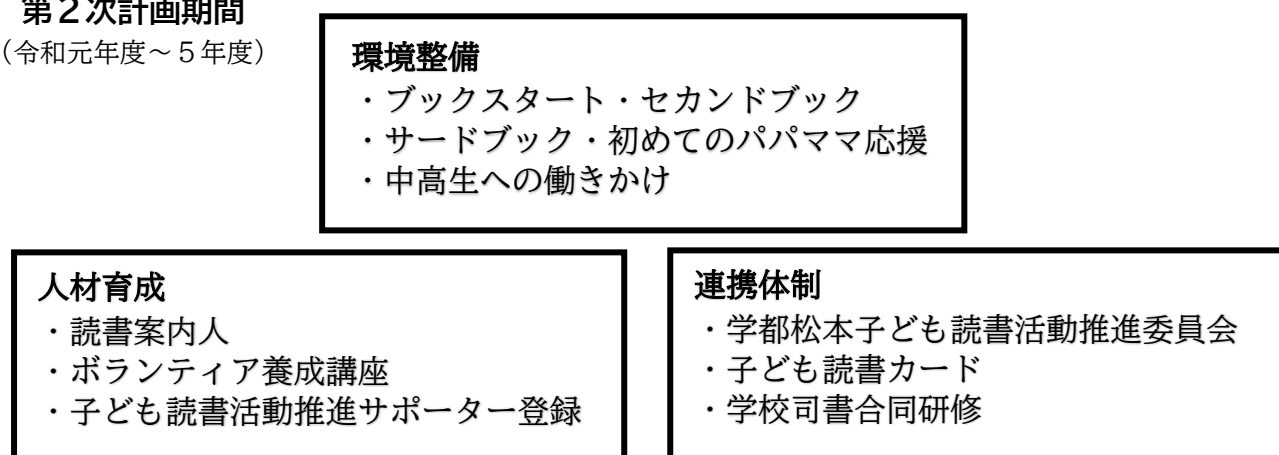
今後の推進体制のイメージ

第2次計画の未実施項目の実施にむけた検討と、継続して子どもの読書活動の推進に取り組めます。

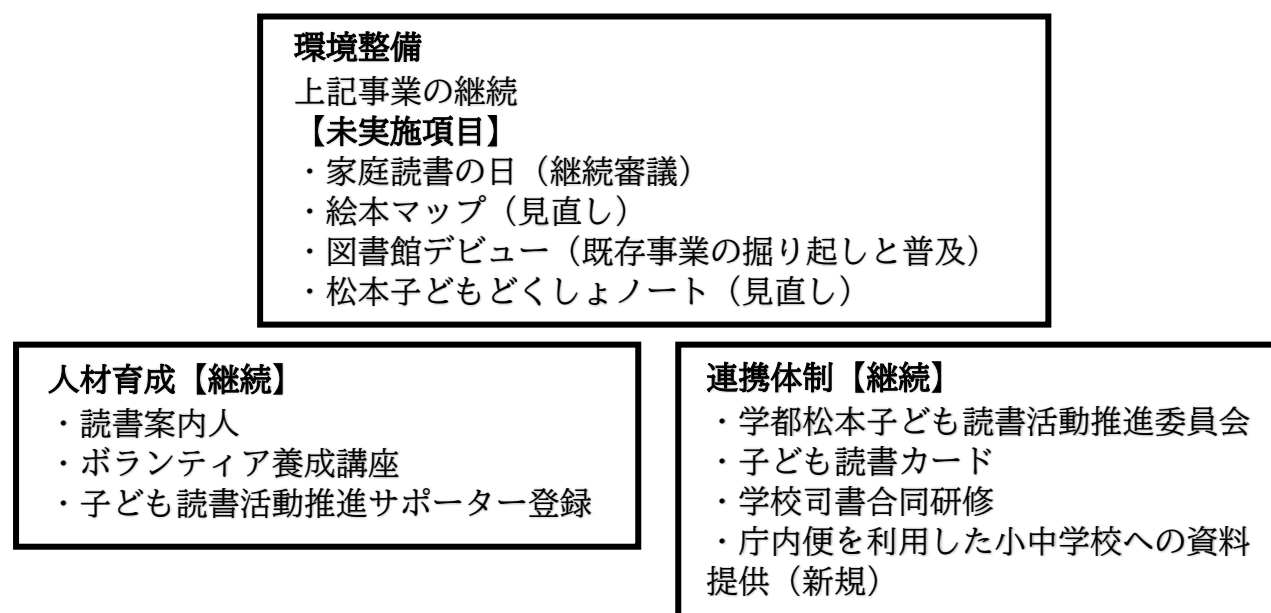
- (1) 庁内調整会議・幹事会→廃止
- (2) 学都松本子ども読書活動推進委員会（年2回開催）
子どもの読書活動の推進に伴う事業の評価・検証及び効果的な実施について協議
- (3) 学都松本子ども読書活動推進委員会作業部会（年2～3回開催）
ブックスタート・セカンドブック・サードブック見直し及びリスト作成
YA（ヤングアダルト）Book List作成等

第2次計画期間

（令和元年度～5年度）



今後の推進体制



未実施項目については、計画策定時から5年が経過していること、この間新型コロナウイルス感染症の蔓延により、著しく環境が変化したこと、限られた職員体制の中で事業を行う必要があることから、より効果的な事業の推進ができるよう検討を進めます。

子ども読書活動推進実施施策

「松本市教育振興基本計画」に基づき、子どもが身近な場所で進んで本に親しみ、自ら学び知る楽しさを体得し、一人ひとりが自由に読書を楽しみ、未来を拓く豊かな心と生きる力を育むため「環境整備」、「人材育成」、「連携体制」の3本の柱で引き続き子ども読書活動を推進していきます。

1 子どもが読書に親しめる環境をつくります（環境整備）

乳幼児期における家庭での読み聞かせは子どもが本と出合うための初めの一步であり、親子のふれあいの機会に絵本が有効であることなど、本の持つ力を伝えるため、ブックスタートから就学（6歳頃）まで、3歳ごとに切れ目ない働きかけを行います。小学校から高等学校においては、豊かな想像力、読解力、思考力、表現力 及び 創造力を育むために、主体的で自由な読書の楽しさ、調べることの面白さや知ることの喜びを体得する読書活動を推進します。

また、あらゆる分野・場面で読書活動を推進するための環境づくりをすすめ、本と出合うきっかけづくりを創出します。

(1) ブックスタート事業（継続）

10か月児健診時に各保健センターで絵本1冊と絵本リスト「こんにちはえほん」をプレゼントします。

(2) セカンドブック事業（継続）

3歳児健診時に各保健センターで絵本1冊と絵本リスト「なかよしえほん」をプレゼントします。

(3) サードブック事業（継続）

6歳頃に読んでほしいブックセットを、市内すべての小学1年生のクラスに学級文庫として設置します。ブックセットは3年ごとに更新します。

(4) 初めてのパパママへの応援（継続）

妊婦や家族に向けて、絵本の読み聞かせの楽しさや大切さ、本の持つ力を伝えていきます。図書館で作成した「ママ・パパのためのBOOK LIST」を配布します。

(5) 中高生への働きかけ（継続）

豊かな心を育む自由で自発的な読書や生きる糧になる素敵な本と出合うためのきっかけ作りを支援します。中高生向けのブックリスト「TEEN, s BOOK」を作成し配布します。

(6) 家庭読書の日「うちどく」（未実施事業・継続審議）

読書を通じて体も心も大きく育つために、家庭でみんなが一緒に本を楽しむことを推進していきます。保健センター、子どもプラザ、保育園・幼稚園、学校等と連携、調整しながら、検討していきます。

(7) 松本子どもどくしょノート（未実施事業・見直し）

就学前までに読んでおきたい絵本リストと読書記録が記入できるオリジナルノートを作成し、配布することとしていましたが、読書記録アプリが普及していることをふまえ、ブックスタート時に配布している絵本リスト「こんにちはえほん」、セカンドブック時に配布している絵本リスト「なかよしえほん」の内容を見直し、記録できるよう検討していきます。

(8) 図書館デビューの応援（未実施事業・既存事業の掘り起しと普及）

子ども連れの図書館利用に不安のある利用者へ親子で安心して楽しく図書館を利用できるような支援を行います。既に実施済の事業の中でも該当となる事業があるため改めて位置づけを行い、周知等を積極的に行っていきます。

(9) 絵本マップ（見直し）

作成にあたっては膨大な作業が必要であり、SNS含めインターネットの普及により、マップ作成でなく図書館からの情報発信に変えることとします。

(10) お楽しみ絵本便（未実施事業・新規）

季節やイベントに合わせた絵本セットを作成し、子ども読書推進サポーター等が保育園・幼稚園などへ届け、併せて読み聞かせを行います。

松本市出前講座メニューの一つとして、保育園・幼稚園を対象とした「お楽しみ絵本便」を設け、講座の実績等に基づき、対象を広げていくなど検討していきます。

2 子ども読書活動を広め、支える人を育てます（人材育成）

本市全体で子ども読書活動を推進するために、子どもの読書活動の意義や重要性について市民に広く普及・啓発を図るとともに、子どもの読書活動に関わる人への情報・知識の提供や研修の機会を拡大、強化し、活動を支え、子どもと本とをつなぐ人材を育てます。

(1) 読書案内人（継続）

民間の有識者（JPIC 読書アドバイザー、絵本専門士等）を「読書案内人」とし、読書ボランティアの養成やブックリスト作成等に協力していただきます。

(2) ボランティア養成講座（継続）

読書ボランティア養成のための読み聞かせボランティア養成講座やスキルアップ講座を開催します。新たに、ボランティアが更なる学びを深めることができる講座の開催も検討します。

(3) 子ども読書活動推進サポーター登録（継続）

読書ボランティアのうちスキルアップ講座修了者を「子ども読書推進サポーター」として登録し、職員と協働して地域での読書推進活動を行います。

3 連携のための体制づくり（連携体制）

子どもが身近な場所で自由に楽しく読書ができる環境整備を更に推進するため、図書館が中心となって、家庭、地域、団体、学校、施設等、本市の子ども読書活動を担う人材が情報を共有し、相互連携を強めながら横断的な取り組みを継続して行います。

(1) 学都松本子ども読書活動推進委員会（継続）

推進機関の関係者や専門職と民間の有識者等で構成する「子ども読書活動推進委員会」は継続して開催します。また、ブックスタート・セカンドブック・サードブック見直し及びリスト作成等を検討する「作業部会」を随時開催します。

(2) 子ども読書カード（拡大）

これまで連携の薄かった松本市内高等学校への子ども読書カードの登録を検討します。

(3) 学校司書合同研修（継続）

小中学校の学校司書との連携を深めるため、合同研修を行います。

資 料

1 関係法令等

○子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成 13 年法律第 154 号)

(目的)

第 1 条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第 2 条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第 3 条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第 4 条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第 5 条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第 6 条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第 7 条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第 8 条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第 9 条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県

における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

- 2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
- 3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
- 4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第 10 条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

- 2 子ども読書の日は、4月23日とする。
- 3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）

第 11 条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

○ 衆議院文部科学委員会における附帯決議

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

- 一 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。
- 二 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。
- 三 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことができる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。
- 四 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。
- 五 子どもの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。
- 六 国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

○図書館法（抜粋）

（昭和 25 年法律第 118 号）

第一章 総則

（この法律の目的）

第一条 この法律は、社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）の精神に基き、図書館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。

（定義）

第二条 この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの（学校に附属する図書館又は図書室を除く。）をいう。

2 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

（図書館奉仕）

第三条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

一 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「図書館資料」という。）を収集し、一般公衆の利用に供すること。

二 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。

三 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。

四 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。

五 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。

六 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。

七 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。

八 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。

九 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

（司書及び司書補）

第四条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。

3 司書補は、司書の職務を助ける。

（司書及び司書補の資格）

第五条 次の各号のいずれかに該当する者は、司書となる資格を有する。

- 一 大学を卒業した者で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したもの
 - 二 大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの
 - 三 次に掲げる職にあつた期間が通算して三年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの
 - イ 司書補の職
 - ロ 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの
 - ハ ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するもの
- 2 次の各号のいずれかに該当する者は、司書補となる資格を有する。
- 一 司書の資格を有する者
 - 二 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者で次条の規定による司書補の講習を修了したもの

（司書及び司書補の講習）

第六条 司書及び司書補の講習は、大学が、文部科学大臣の委嘱を受けて行う。

- 2 司書及び司書補の講習に関し、履修すべき科目、単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。ただし、その履修すべき単位数は、十五単位を下ることができない。

（司書及び司書補の研修）

第七条 文部科学大臣及び都道府県教育委員会は、司書及び司書補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

（設置及び運営上望ましい基準）

第七条の二 文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

（運営の状況に関する評価等）

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

（協力の依頼）

第八条 都道府県教育委員会は、当該都道府県内の図書館奉仕を促進するために、市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会に対し、総合目録の作製、貸出文庫の巡回、図書館資料の相互貸借等に関して協力を求めることができる。

（公の出版物の収集）

第九条 政府は、都道府県の設置する図書館に対し、官報その他一般公衆に対する広報の用に供せられる独立行政法人国立印刷局の刊行物を二部提供するものとする。

- 2 国及び地方公共団体の機関は、公立図書館の求めに応じ、これに対して、それぞれの発行する刊行物その他の資料を無償で提供することができる。

○学校図書館法

(平成 28 年法律第 185 号)

(この法律の目的)

第一条 この法律は、学校図書館が、学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であることにかんがみ、その健全な発達を図り、もつて学校教育を充実することを目的とする。

(定義)

第二条 この法律において「学校図書館」とは、小学校（義務教育学校の前期課程及び特別支援学校の小学部を含む。）、中学校（義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。）及び高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）（以下「学校」という。）において、図書、視覚聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料（以下「図書館資料」という。）を収集し、整理し、及び保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校の設備をいう。

(設置義務)

第三条 学校には、学校図書館を設けなければならない。

(学校図書館の運営)

第四条 学校は、おおむね左の各号に掲げるような方法によって、学校図書館を児童又は生徒及び教員の利用に供するものとする。

- 一 図書館資料を収集し、児童又は生徒及び教員の利用に供すること。
- 二 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。
- 三 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を行うこと。
- 四 図書館資料の利用その他学校図書館の利用に関し、児童又は生徒に対し指導を行うこと。
- 五 他の学校の学校図書館、図書館、博物館、公民館等と緊密に連絡し、及び協力すること。

2 学校図書館は、その目的を達成するのに支障のない限度において、一般公衆に利用させることができる。

(司書教諭)

第五条 学校には、学校図書館の専門的職務を掌らせるため、司書教諭を置かなければならない。

2 前項の司書教諭は、主幹教諭（養護又は栄養の指導及び管理をつかさどる主幹教諭を除く。）、指導教諭又は教諭（以下この項において「主幹教諭等」という。）をもつて充てる。この場合において、当該主幹教諭等は、司書教諭の講習を修了した者でなければならない。

3 前項に規定する司書教諭の講習は、大学その他の教育機関が文部科学大臣の委嘱を受けて行う。

4 前項に規定するものを除くほか、司書教諭の講習に関し、履修すべき科目及び単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。

(学校司書)

第六条 学校には、前条第一項の司書教諭のほか、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員（次項において「学校司書」という。）を置くよう努めなければならない。

2 国及び地方公共団体は、学校司書の資質の向上を図るため、研修の実施その他の必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(設置者の任務)

第七条 学校の設置者は、この法律の目的が十分に達成されるようその設置する学校の学校図書館を整備し、及び充実を図ることに努めなければならない。

(国の任務)

第八条 国は、第六条第二項に規定するもののほか、学校図書館を整備し、及びその充実を図るため、次の各号に掲げる事項の実施に努めなければならない。

- 一 学校図書館の整備及び充実並びに司書教諭の養成に関する総合的計画を樹立すること。
- 二 学校図書館の設置及び運営に関し、専門的、技術的な指導及び勧告を与えること。
- 三 前二号に掲げるもののほか、学校図書館の整備及び充実のため必要と認められる措置を講ずること。

○学校図書館法附則第二項の学校の規模を定める政令

(平成9年政令第189号)

学校図書館法附則第二項の政令で定める規模以下の学校は、学級の数（通信制の課程を置く高等学校にあっては、学級の数と通信制の課程の生徒の数を三百で除して得た数（一未満の端数を生じたときは、一に切り上げる。）とを合計した数）が十一以下の学校とする

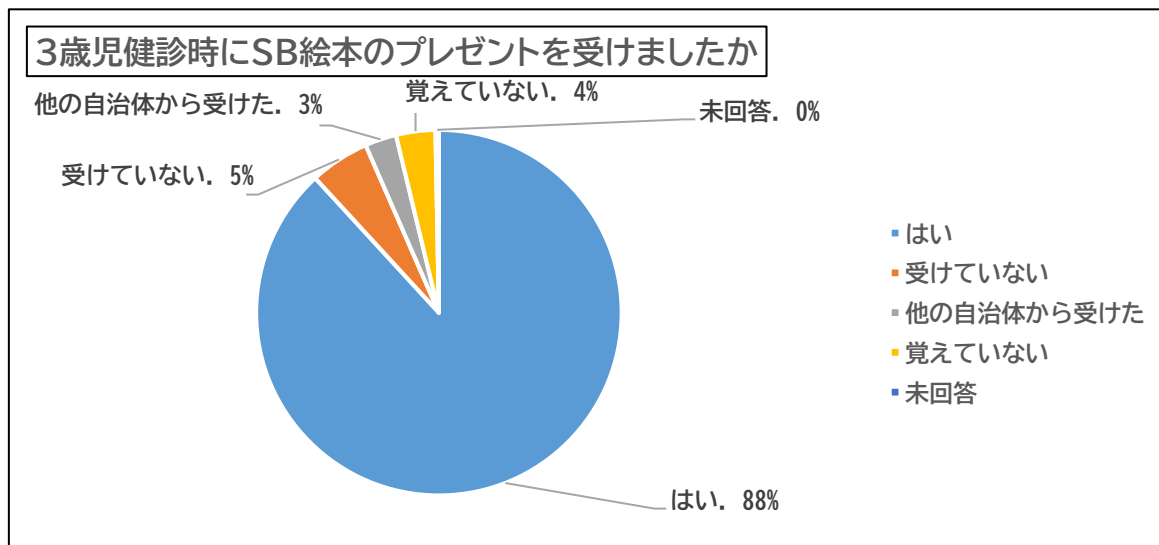
検証・調査資料

セカンドブック事業のアンケート集計

調査期間	令和5年6月13日～令和5年6月30日
調査対象者	導入初年度（令和元年度）3歳児健診該当者（平成28年4月2日～平成29年4月1生まれ）の保護者
調査方法	松本市内の小学校（市立のみ）に通う1年生の保護者に学校の連絡アプリ「ホーム&スクール」からアンケートを依頼
調査対象数	1,866人（松本市立小学校1年生児童数）
回答数	1,006人
回答率	53.9%

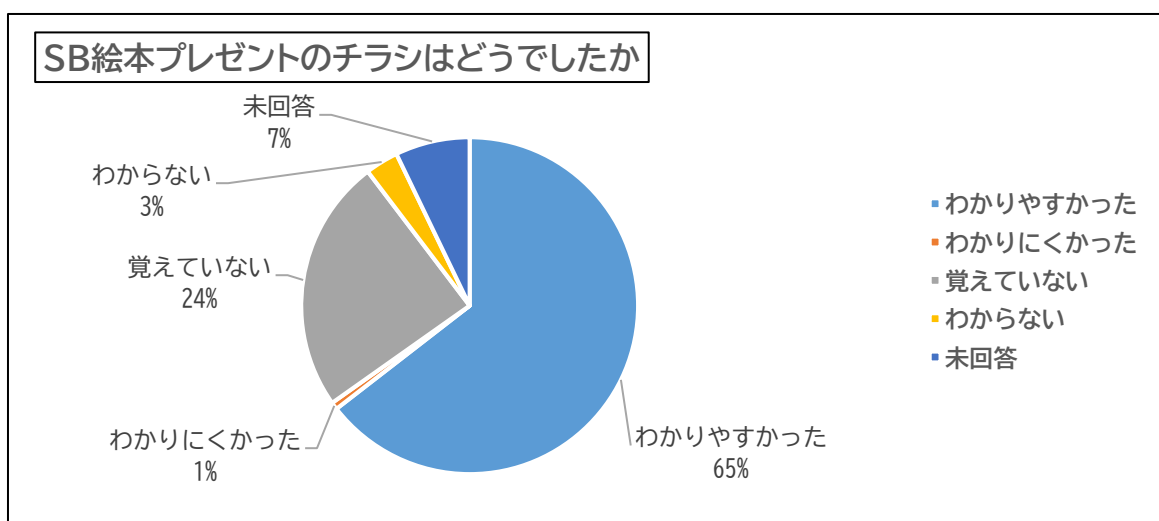
1 お子さんの3歳児健診時（2019年）にセカンドブック絵本のプレゼントをうけましたか

はい	受けていない	他の自治体から受けた	覚えていない	未回答	合計
887	53	28	35	3	1,006



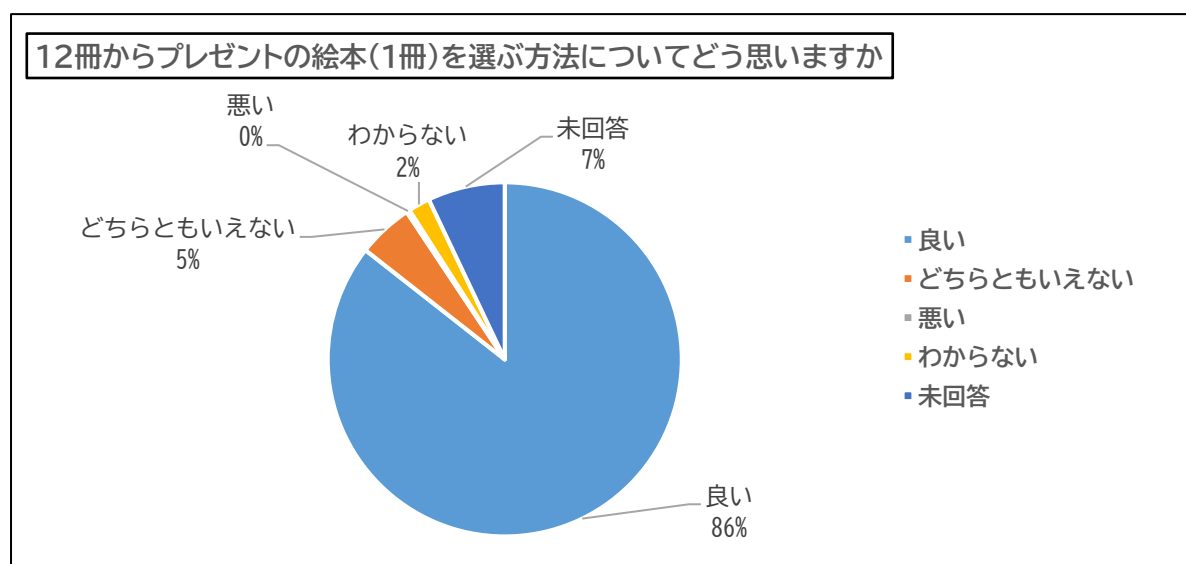
2 セカンドブック絵本のプレゼントについて、健診の通知と一緒にチラシでお知らせしましたが、いかがでしたか（覚えている範囲でご回答願います）

わかりやすかった	わかりにくかった	覚えていない	わからない	未回答	合計
649	7	246	32	72	1,006



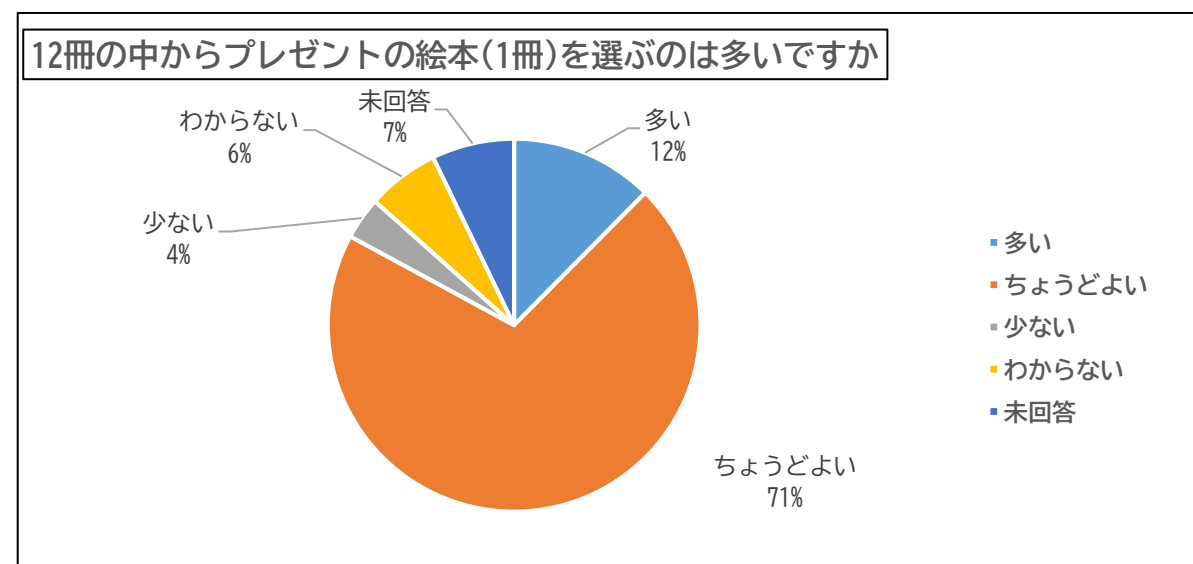
3 12冊の中からプレゼントの絵本（1冊）を選ぶ方法についてどう思いますか

良い	どちらともいえない	悪い	わからない	未回答	合計
861	51	3	20	71	1,006



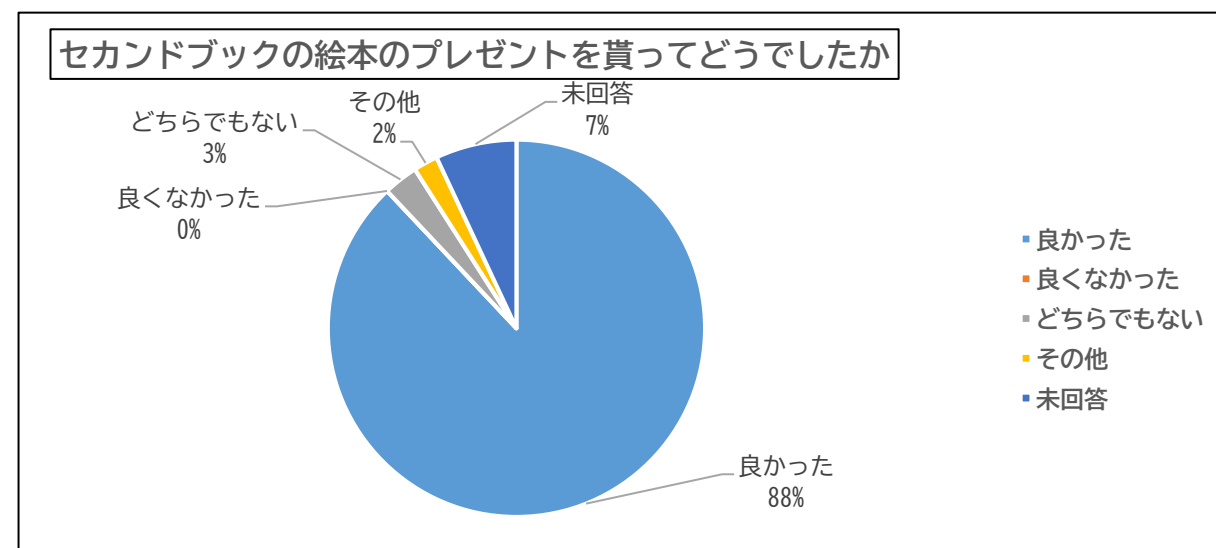
4 12冊の中からプレゼントの絵本（1冊）を選ぶのは多いと思いますか

多い	ちょうどよい	少ない	わからない	未回答	合計
125	709	37	63	72	1,006



5 セカンドブックの絵本のプレゼントを貰ってどうでしたか

良かった	良くなかった	どちらでもない	その他	未回答	合計
885	0	30	21	70	1,006

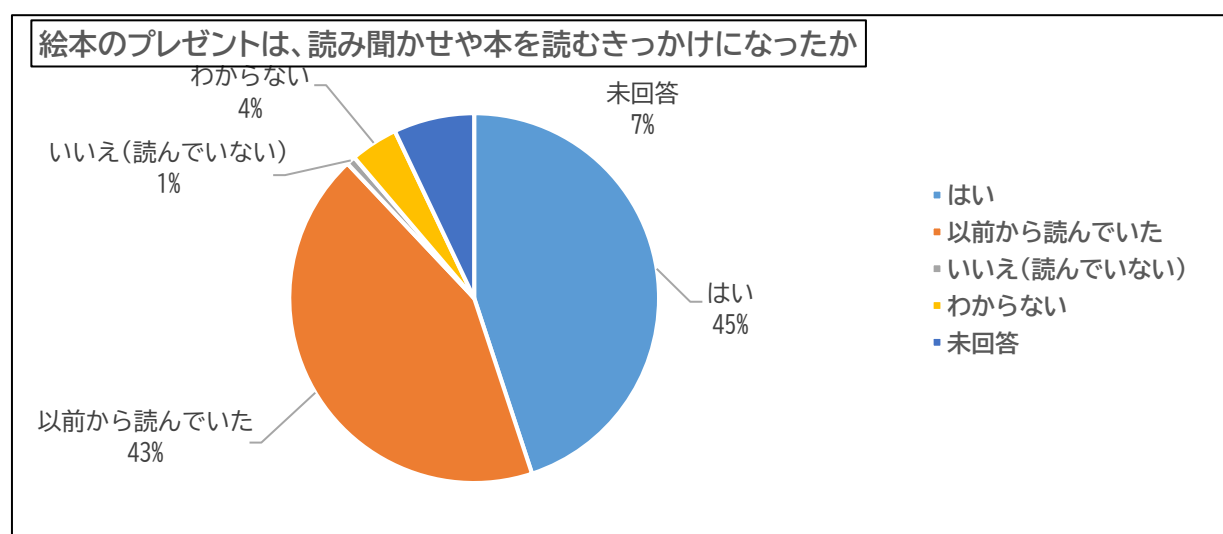


※その他の内容

- ・貰っていない（6件）
- ・覚えていない（3件）
- ・3歳児健診時は他市（他県）在住だった（9件）
- ・コロナ禍で検診を受けていない
- ・プレゼンしてもらえるのは、親としては嬉しかったです。でも子供と一緒に選んできたのに持ち帰ってきたら興味を持ってくれず、読んであげても聞いていなかったのが良かったのかどうかも分からない
- ・読みたい本がなかった

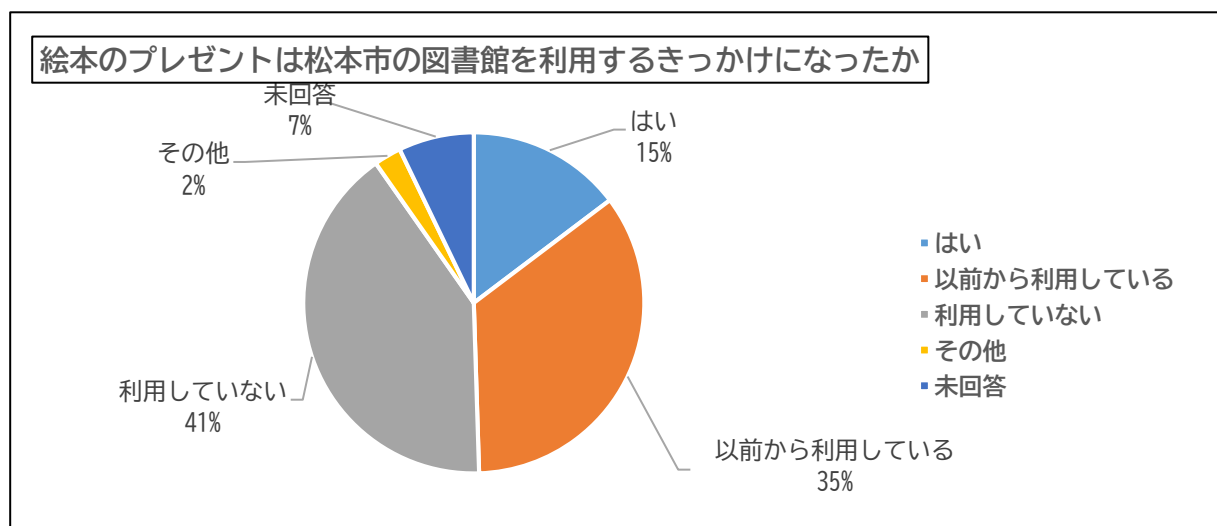
6 絵本のプレゼントは、読み聞かせや本を読むきっかけになりましたか

はい	以前から読んでいた	いいえ(読んでいない)	わからない	未回答	合計
452	433	8	42	71	1,006



7 絵本のプレゼントは松本市の図書館を利用するきっかけになりましたか

はい	以前から利用している	利用していない	その他	未回答	合計
148	350	410	26	72	1,006



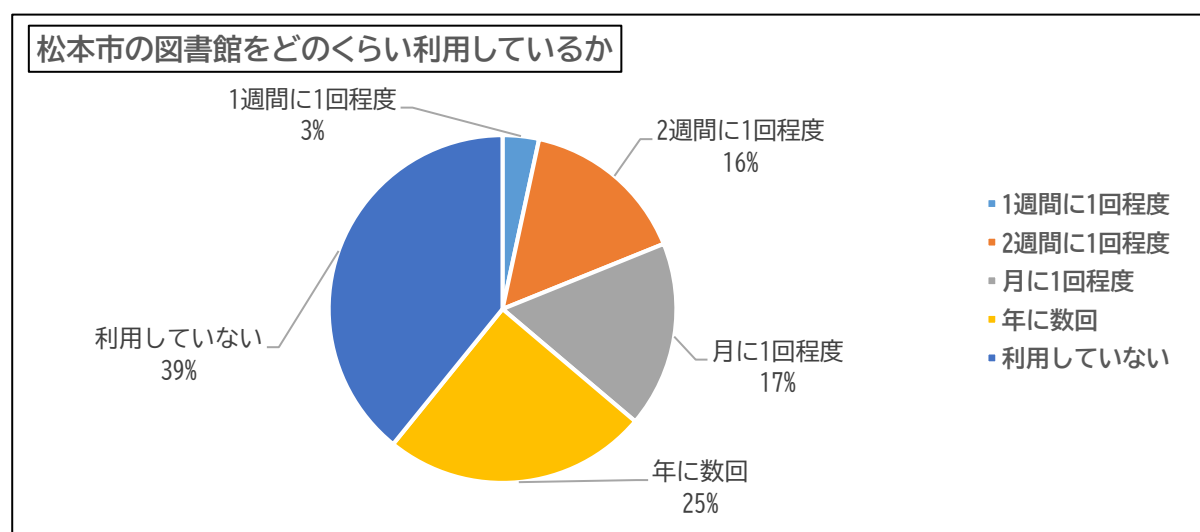
※その他の内容

- ・きっかけになっていない（11件）
- ・3歳児健診時は他市（他県）在住だった（8件）
- ・コロナ禍で利用しなかった
- ・以前は利用していた

- ・今回対象の息子は、未満児から保育園に行っていたので、ゆっくり図書館を利用する機会がなく利用していません。お兄ちゃんときは図書館を利用していた時期がありました
- ・最近になって利用し始めました
- ・児童に迎えに行くようになって図書館に行くようになりました
- ・図書館と聞くと、静かにさせなきゃと言う意識になってしまい、躊躇ってしまってる
- ・父親が本好きでよく借りてきたり、一緒に行って好きな物を借りてます

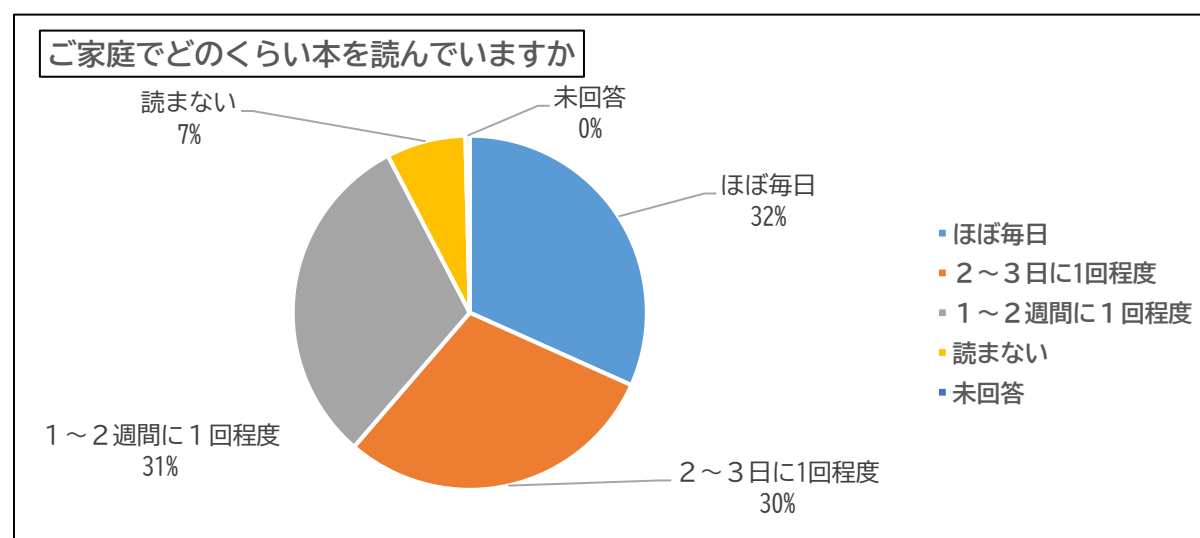
8 松本市の図書館をどのくらい利用していますか

1週間に1回程度	2週間に1回程度	月に1回程度	年に数回	利用していない	合計
34	156	174	248	394	1,006



9 ご家庭でどのくらい本を読んでいますか

ほぼ毎日	2～3日に1回程度	1～2週間に1回程度	読まない	未回答	合計
319	298	312	73	4	1,006



10 セカンドブックについての感想や図書館への要望等がございましたら、ご意見をお願いします。

良かった

- ・おたすけこびとの絵本をいただきました。ありがとうございました。
 - ・とても喜んで、何回も「よんで」と繰り返し読んだ親子で思い出の絵本です。今では自分で読んでいます。まだ読んだことのなかった他の、おたすけこびとのシリーズや、他の絵本も読むきっかけになりました。☑
- また、入学前は2週間に一回くらい図書館へ通って借りていました。絵本も大好きな子で、文字への興味もとても小さい頃から持てたと思います。最近は全くといっていいほど図書館へ足が向かなくなってしまったのですが、またいく頻度増やして行き、たくさんの本にふれさせてあげたいと思います。

- ・『絵本』はとても貴重なものだと感じます。ファーストブックの時も嬉しかったですが、セカンドブックは本人の希望がよりわかる状態で絵本をいただけるので、とても嬉しかったです。
- ・2人子どもがいますが、2人とも絵本を頂いたと思います。絵本は高価な為、中々買うことができない中、「絵本が無料で頂ける」と言う事に、まず私がすごくうれしかった記憶があります。子どもも自分が本を選んでもらえることを喜んでいました。私は、ぜひセカンドブック続けてほしいなあと思います♪
- ・10ヶ月健診、3歳健診と2回も絵本がいただけ、とても有難いです。絵本はたくさん読み聞かせてあげたいと思いますが、高価なものも多く、いつも図書館で借りるばかりだったので、とても喜んでいました！引き続き、続けていただけたら嬉しいです。
- ・3歳になっていろいろわかるようになり、絵本も楽しんでいる時にいただけたのでありがたかったです。
- ・3歳の頃は自分で気に入った本を自分で選んでもらえたので、子ども本人も喜んでいました。自宅に本がたくさんあると、心が豊かになる気がします。図書館で借りるのではなく、自分だけの本をもらうことができ、嬉しい事業です。
- ・3歳の時に頂いた時はちょっと難しいかなと思って長く読み聞かせできとても良かったです。
- ・3歳頃はまだ毎日何回でも同じ本を読んだりするので、本人が気に入った本をいただけたのはありがたいです。ぜひ続けていただきたいと思います。
- ・3歳児健診で頂いた絵本のこと、いまだに覚えています。家にはたくさんの絵本がありますが、その中でも、頂いた自分だけの本は今でも大切な存在みたいです。ありがとうございます！
- ・3歳児検診のお知らせと一緒にセカンドブックが頂けるお知らせもあったので、娘にはどの絵本がいいか考えておいてね！と言った記憶があります。当日、娘が選んだ絵本は今でも大切に夜、何回読んだか分からないくらい娘にとって思い出に残る絵本になりました。ありがとうございました！
- ・いただいたセカンドブックは、今でも子どものお気に入りです、ときどき、読み聞かせています。本は親子の触れ合い、こころのふれあいの大切な機会をもたらしてくれると思います。そうした機会提供につながる試みをいただけることは、とてもありがたかったですし、この試みが継続していくことで、恩恵を受ける親子が増えていくことは、こころ豊かな関係性がそこかしこで紡がれていくようで、ワクワクします。
- ・いただいた本は、今でも子どもにとって大好きな絵本のひとつです。おすすめの絵本を知る機会を増やしてほしいです。
- ・いただいた絵本は親としても子どもとの時間を作ることが出来てとても良かったですし、子どもも大きくなってからも時々出してきて開いたり見えています。本人だけでなく兄弟でも手に取って見たりする姿をみます。何より子どもも私もとても嬉しかったです。ぜひこれからも続けてください！
- ・いつも図書館利用させていただいております！セカンドブックはとても良い試みだと思います！絵本は子どもの感性をととても豊かにしてくれるので、本をあまり読まない子にもきっかけになるとと思います。図書館のカウンター近くに、何冊かピックアップしてあるのもいつも楽しみに見えています！司書の方が選んだ絵本はいつもハズレ無しです(*^^*)これからもお世話になると思います。よろしくお願い致します！
- ・いろんな絵本に触れ合う良いきっかけにもなるのでとても良い取り組みだと思います。これからも続けていただけたらありがたいです。
- ・おばけのてんぷらの本をいただきましたが、7才になる今も読んでと持ってきます。親子で本を読む時間はお互いに一緒に過ごせる大事な時間になっています。
- ・お医者さんに警戒心をもち健診に行くのを嫌がる子どもを絵本貰えるから行こうと連れ出しました。とても助かりました。どの本にするかは、図書館に何度か足を運び、内容を確認し、子どもと相談しました。借りられていて無いこともあり、時間をかけた覚えがあります。もう少し内容がわかるものがあればと思いました。絵本は好きで子どもには読んであげたいと思っていますが、値段が高いので、手元において何度でも読めるというのはとてもありがたく思っています。
- ・ゲームや動画が日常的になっている中で、親子のふれあえる時間が取りやすい取り組みだと思います。
- ・この春、県外から引越し来た者です。先日、下の子の3歳検診でいただきました。以前の自治体では、このような取り組みがなかったので、とても良い取り組みだと思います。
- ・ファーストブックは文が子どもの趣味や性格から親が選びました。セカンドブックは本人に選んでもらいましたが、親の予想していた本とは違い、こういう本好きなんだと知ることができました。おばけのてんぷらという本でしたが、天ぷらが好きだったからのようです。天ぷらももっと好きになりました。毎晩寝る前に読んでいましたが、私たちも楽しませて頂きました。ありがとうございました。

- ・すごくいい取り組みだと思うのでぜひ続けてほしいです。
- ・セカンドブック（ファーストブックのみ）の無い自治体だったので、いいなと思いました。自分では選ばなかったかもしれない、プロのおすすめを手にとることで、子どもが色々な本に触れることができる良い機会が得られると感じました。
- ・セカンドブック、上の子の時にはなく、とても嬉しかった思い出があります。子どもに絵本を選ばせたら、普段私が図書館などでは選ばなかったものを選んだので、「本当はこういう本が好きだったんだな」としみじみ思った記憶があります。大きくなっても時々思い出しては持って来て一緒に読んだり、思い出の本になっているので、これからも続けていってもらえると嬉しいです！ありがとうございました。^_^
- ・セカンドブックでいただいた本が大好きになり、その後幼稚園でその本の劇をすることになり、本に対しての思い入れが深くなったようです。小学生になっても大切にしています。
- ・セカンドブックでいただいた本を何度も読んでいました。今後も続けてほしい事業の一環です。
- ・セカンドブックでおたすけこびとを頂いて今も夜の寝かし付けに読んだりすることがあります。ファーストブックもとても素敵な本でしたし、選べるのもありがたかったです。ありがとうございました。
- ・セカンドブックで頂いた絵本、今でも「健診で貰った本」という認識で親はもちろん子どももちょうど覚えています。そして、その時の事も記憶にでてくるので本を通して優しい気持ちになれます。これからのお子さんの為にも是非続けてほしい制度だと思います。
- ・セカンドブックのリストから他の本も読むきっかけになったので良いと思います。
- ・セカンドブックは、子どもと一緒に本を選ぶ事ができ、楽しかったです。頂いた「おたすけこびと」の本は、6歳になった今でも時々開いて楽しんでいます。
- ・セカンドブックは、初めて子どもが自分で選んで貰ったもので、毎日子どもが「よんで！」と持ってきて寝る前に読み聞かせていました。幼稚園の年中位になると、自分で読めるようになりました。本屋さんに行くと、沢山ありすぎてどの本が良いのか迷ってしまいましたが、セカンドブックは子どもが選べる冊数だったので、良かったと思います。
- ・セカンドブックはとても良かったです。自分ではどうしても偏ったセレクトになりがちなところをおすすめから選ぶためいつもと違った本を読ませることができました、いただいた本は未だにお気に入りの一冊で擦り切れそうなほど読んでいます。ありがとうございました。
- ・セカンドブックは健診中にも読めたし良かった。図書館は借りたい本の予約がインターネットで出来るようになって便利だし、どこの図書館で借りても返しても良いのが利用しやすい。いつも有り難うございます。
- ・セカンドブックプレゼントから松本市の図書館を利用することへはなかなか繋がらなかったですが、本を読むことはとても大切だと思うのでいい機会だと思います。
- ・セカンドブックをすごく気に入って何度も読み、自分で読めるようになった今は下の子に読んであげている姿があります。
- ・セカンドブックを選ぶ時は、読んだことのある本がけっこう含まれていたように記憶しています。何度読んでもいいのですが、出会ってない本とももう少し出会えるような機会になったら嬉しいなあと思いました。
- ・ぜひ、継続してもらいたいです。
- ・ぜひこれからも続けてほしいです。ありがとうございました。
- ・それまでは、もう少し簡単な絵本を見たりしていましたが、プレゼントをキッカケに少しレベルアップした絵本を読み始めるキッカケになりました。とてもありがたく、嬉しいサービスです
- ・たくさん本を読み聞かせたいと思っても、なかなか購入までいかないのが、プレゼントでいただけるのはありがたい。子どもが3人いますが、毎年同じでなく更新されてて、たくさんの中から選べて嬉しかったです。1年生になり、ひらがなの読み練習で使ってます。小学校卒業の年にももらえたり、機会を増やしていただきたいです。
- ・とてもよい事業だと思いました。続けてほしいです。
- ・とても素晴らしい活動だと思います。松本市は図書館の機能も充実していて素敵だなあとと思っています。いつもありがとうございます。
- ・とても良い事業だと思しますので、これからも続けていってほしいと思います。今はインターネットの時代にはなりますが、やはり絵本の読み聞かせはスキンシップにもなりますし、大事だと思います。
- ・とても良い取り組みだと思えます。ありがとうございます。
- ・どんな本を読んだら良いか参考になりました。これからも継続してほしいです。
- ・ファーストブックの時は親が選びましたが、セカンドブックは子どもが選ぶ事ができる年齢でよかった。字が読めるようになるとちょうど良い文章で、長く愛読できた。本は、なかなか買う機会がないので、有難く思っ

てます。今後も続けて下さい。

- ・ファーストブックもセカンドブックもどちらも子どもが喜んで読んでいました。ありがとうございました。
- ・ネットでの検索や予約も便利に利用させて頂いています。スタッフの方も子どもに親切な方が多く嬉しいです。
- ・プレゼントはもともと好きだった作家さんの絵本を選びましたが、他の絵本は図書館で借りるきっかけになりました。また、プレゼントの絵本を選択する際は娘とあれこれ言いながら決めることができ、とても楽しかったのを覚えています。引き続き継続して行って欲しいと思っています。
- ・まほうのコップ良かったです。理科に興味を持つきっかけになると思いますし、大人が読んで面白いです。
- ・もらった当時 本人もとても喜んでいました。ありがとうございました。
- ・家にも本は数冊ありますが、セカンドブックで貰った本は、自分で好きなものを選んで為か、暗記するくらいたくさん読んでいました。ありがとうございました。
- ・絵本いただけるんだと嬉しかったのは覚えています。ただ詳しくはもう覚えていないです。
- ・絵本がもらえる事は子どもにとってとても嬉しいことだと思います！ありがとうございます！
- ・絵本が元々好きでたくさん持っていました。改めて健診の時に子どもがプレゼントをしてもらえるというのは嬉しさが親子共にありましたし、たくさんある中から選べる喜びが子どもにとっては有り難かったです。絵本を読む習慣がないご家庭に取っては、まずは絵本を手取るよいきっかけにもなるかと思いますので、今後もぜひ継続して欲しい素晴らしいお取り組みだと思います。素敵な機会をありがとうございました！！
- ・絵本とても嬉しかったです。今でも下の子と一緒にもらった絵本を読んでいます。
- ・絵本に触れる機会は一冊でも多い方がいいと思いますので、プレゼントしていただけるのはとてもありがたい取り組みだと感じています。うちの子は初めて自分ひとりで読み出したのが、セカンドブックでいただいた『どうぞのいす』でした。図書館もよく利用していますが、家の本として安心して渡せたから、自分で手取る回数が多かったのかも知れません。（図書館の本だと汚さないように破かないように常に隣で見えていないといけないので）ファーストブックもセカンドブックも、すごく嬉しかったです。
- ・絵本に親しみがない人でも読み聞かせる良いきっかけになると思います。嬉しかったです。
- ・絵本のプレゼントとても良かったです。とても気に入っていました。今でも頂いた本を読むこともあります。
- ・絵本のプレゼントはとてもよい取り組みだと思います、読み聞かせのきっかけにもなるし、プレゼントしていただけるのは記念にもなるし、本て何気になかなか高価なので、とてもうれしいです。12冊の中から選ぶのも、子どもに読み聞かせるにはどんな絵本がいいかわからなかったりするので、こういう本を選べばいいのね！と参考にもなります。今後も是非続けてもらいたいと思います。
- ・絵本の専門家が、年齢に応じた内容を選別してくれているのでありがたい。その中から自分で選べるのも良かったです。自分からは買いに行かれないので、助かりました。
- ・絵本の読み聞かせは子どもにも親にも良い時間だと思う。そのきっかけになる良い取り組みだと思う。
- ・絵本は、ずっとつながるものなので、下の兄弟にも読めて良いです。本人ももともと絵本好きでしたが、3歳健診をがんばったご褒美のようになって良かったです。
- ・絵本は自分で買うと結構高いのでもらえてうれしかったです。
- ・絵本もらえてありがたかったです。当時は少し子どもには難しい(内容が長い)ので読まずにいましたがもうしばらくして大きくなって読んだら気に入って何度も読んで、読んでとせがまれました。それもまた1つ思い出となって便利だし、どこの図書館で借りても返しても良いのが利用しやすい。いつも有り難うございます
- ・絵本をいただけてとても嬉しかったです。選ばなかった絵本は買ったり、借りたりして読みました。良い絵本を選ぶ参考にもなったので、12冊の候補はありがたかったです。事業をぜひ続けて行ってほしいです。
- ・絵本をいただけて親子共々嬉しかったです。
- ・絵本をプレゼントして貰えるというのはとてもいい事だと思います。自分たちで買うにしても、子どもが気に入るのを選びはしますがどんな絵本がいいのか知るのには限界があるし、何冊かオススメの中から選ぶスタイルはありがたいです。
- ・絵本をもらえて、子どもも親もとてもうれしかったです。入学の時など節目の時にももらえると記念になっていいなあと思います。
- ・絵本をもらえることは大変有難く、今でもボロボロにはなっていますが兄弟も読めています。松本市の図書館の利用に関しては破損や汚してしまったら…と、考えると親もとても神経質になってしまい、なかなか利用出来ていません。ある程度わかってきて本も大事に扱えるようになってきているので今後利用していけたらと考えています。
- ・絵本を頂き、子どもは『自分の本』と、とても嬉しくて、今でも大切にしています。小学一年生となり、頂いた

絵本や、幼児向けの絵本を読む事で、自分で文字を読むことができるようになり、大変ありがたく思っています。デジタル化により活字離れが進んでいますが、やはり、実際に本に触れて読む事を大切にしてほしいので、これからも続けていってほしいです。

- ・絵本を読ませたいと思っていたので、子どもの年齢に合った絵本をプレゼントしてもらえて単純に嬉しかったです。また、どんな絵本を選んだら良いのか難しいと思っていたので、いくつか厳選された中から選ぶことができたのでありがたかったです。
- ・絵本を読むきっかけにもなりました。素敵な取り組みだと思います。ありがとうございました
- ・絵本を買うことがあまりなかったので、嬉しかったです。ありがとうございました。
- ・基本的には何でももらえると喜ぶのでありがたいです！が、すぐ飽きてしまったりするので、そこが難しいところですね。でもやっぱりありがたいです！！
- ・健診の際に自分で選んだ絵本を貰えたのは特別だったようで、今でも喜んで読んでいます。家族でいつも絵本や図書館楽しませてもらっています。ありがたいです。
- ・健診で絵本を頂いたのを思い出しました。嬉しかったのでこれからも続けて頂けたらと思います。ありがとうございました。
- ・個人的に子どもが欲しいと思ったら購入する、みたいな感じだったので中々自分から積極的に購入しないので、いただけると読み聞かせもできるし、子どもも興味を示したのでセカンドブックがあって良かったです。
- ・今でも、この本は健診の時に自分で選んで、もらった本だよね！と言って読んでいます。素晴らしい贈り物をありがとうございました。
- ・今後も継続していただけると幸いです
- ・今後も続けて欲しい。
- ・埼玉県に住んでいた時にも、松本市と全く同じで、3歳児健診でセカンドブック絵本のプレゼントがありました。絵本も値段が上がっていて、自分では相当気に入った本しか買わなくなっているの、とても良い活動だと思います。
- ・司書さんや、松本市の市立図書館の皆さまのお陰で自宅で本が購入できなくても、子どもたちが本に触れる生活をする事ができます。いつもありがとうございます。
- ・子どもが健診の時に喜んでいたのでよく覚えています。いまは勉強や遊び、習い事となかなかゆっくり本を読む時間が取れませんが、絵本の中の料理を真似して作ってみたり弟と一緒に読んでみたりと本から刺激をもらっているのは確かです。セカンドブックはとてもよい取り組みだと思うので、これからの子供たちにも継続して行って欲しいです。
- ・子どもが自分でこの中から選んでもらえる！というのがやっぱり子どもにとって、とても嬉しかったと思います。
- ・子どもが自分で選んだ本なので、気に入って何回も読んでいました。
- ・子どもが本を読むことが好きだったので、本をプレゼントしていただけることは、とても嬉しかったです。魅力的なラインナップで、どれにしようか迷うほどでした。本を読むきっかけにもなると思うので、引き続き取り組んでいただきたいと思います。
- ・子どもに選ばせました。私が選ばないような本を選んだので、子どもの意外な面を見れましたし、一緒に読んでみておもしろかったです。とても良い取り組みなので、今後も続けてほしいです。
- ・子どもも絵本をもらえてとても喜んでいて、今でも大切に読んでいます。
- ・子どもも喜ぶし、親子の時間がとれてとてもよかった。
- ・子どもがとても喜んでいました。
- ・子どもがページめくったり、指さして笑ったりしていたのが、印象的でした！それから本を開く事を覚えて、今はダンゴムシの本に激ハマリしてます！子ども達が、うるさくしてもいい日などあれば、気軽に行けるようになると思うので、ご検討よろしくお願いします。
- ・子どもが自分で選べてよかった これからも続けてほしいです
- ・子どものためになる、ありがたい試みだと思います。子ども達には生まれた時から毎日のように本を読んでいます。親が選ぶだけでは偏りがありますし、福音館の配本も利用していましたが、様々な種類の本が子ども達には必要だと思うので、年齢にあわせ本を頂けるのはとても嬉しかったです（上の子・下の子の時と本のラインナップが変わっていて嬉しかったです。名作から比較的新しく出版されたものやシリーズの1作目のもの。男の子、女の子それぞれの好みそうなもので選書してくれたことを覚えています。ありがとうございました。）
- ・子どもは絵本を貰えて大変喜び、気に入って読んでいたので、大変良い取り組みだと思います。
- ・思い出に残るので、今でも大切な絵本の一冊です。簡単な文面なので音読の練習にもなります。小学生向けの読

み聞かせの会があったら、参加したいなと思います。

- ・自治体によっては本のプレゼントがないところもある中、このような機会があっても良いなと思います。普段からも読み聞かせをしていましたが、いただいた本もとても気に入り数ヶ月の間、毎日読み聞かせしておりました。できればサードブックプレゼント事業もすすめてほしかったです。（コロナでなくなってしまったような気がします）
- ・自分で選んだ本なので、気に入って今でも読んでいます。字が読めるようになってきたので、自分でも読んでいます。
- ・自分の意思で「これがいい！」と親の予想と異なる絵本を選んだので、子どもの興味を知る機会になりました。その後も保育園で絵本を年間購入したり、本との繋がりを持てました。
- ・手持ちの絵本が多かったので持っていない本があればいいなと思っていました。何冊か持っているものもあったのでたくさんの中から選べるのは助かりました。
- ・周りのお母さん方も、皆さん、3歳時にも絵本を頂けて嬉しい!と言う方が多いです。3歳までに既に出会っている絵本が沢山なので、12冊の中から選ぶのは新しい絵本に出会えたり、知っているけど欲しかった絵本が自宅に来るので、嬉しい制度だと思います。
- ・初めての本、今だに気に入って読んでほしいと持ってきて読んでいます。思い出になるし、いいと思います。
- ・小さい頃から本に親しんで、自然と字を読めるようになっていました。ありがとうございました。
- ・小さい時から本を読んでいたのので、プレゼントして頂いて嬉しかったです。我が家はたまたまお下がりや習い事の教室で本を借りられているので図書館にはまだ行ってないんですが、小学生になったのでそろそろ図書館へ行ってもっと沢山の本に興味を持ってくると良いなと思っていますところですよ。
- ・小学校入学、中学校入学で、お祝いという感じでまた選んで、いただけたら嬉しいです。
- ・小学校入学でも、そういうプレゼントがあってもいいかと思いました。
- ・小学生のタイミングで、また本が欲しい。
- ・少し月齢が高めのものもあり、それをいただいたので、当時は親が読み聞かせ、今は自分で読んで楽しむことができます。
- ・新しい絵本を読む良いきっかけになりました。
- ・図書カードで配布するよりも、良いと思いました。
- ・図書のプロがお勧めしてくれる絵本を頂けたのはもちろん、選ばなかった本も図書館で借りて読み聞かせました。この事業は、良い絵本に出会えるきっかけになりました。
- ・図書館が遠いし、本屋にも下の子がいるのでなかなかいけない状態だったので、本を一冊でもいただけるのは本当に嬉しかったです。今でも月に一回はいただいた本を出しては読んでいます。ありがとうございます。
- ・図書館が近くにあることで、色々な本を読むことができるのでありがたいです。本のプレゼントも嬉しかったです。もらったおたすけこびとシリーズの他の本を図書館で借りて読みました。
- ・図書館でも借りられますが、小さい子どもだと破いたり舐めたりと破損が気になる場所なので、自宅の所有物としての絵本は、気兼ねなく読ませることが出来てとても良かったです。
- ・図書館で絵本を借りてもだいたい同じものになってしまい、セカンドブックのチラシはとても参考になりました。いただけると知ってその中で何冊か図書館で借り、子どもが気に入ったものを選びました。いつも図書館の本だったので新しい本は嬉しかったです。ただ、3歳下の子どももセカンドブックをいただいたのですが、上の子どもときと全く同じ絵本だったので、せめて絵本の種類は毎年少しずつでも、変わったら嬉しいなと思います。
- ・図書館で色々な本に触れて、毎回楽しく絵本や図鑑を読んでいます。
- ・図書館で本を借りたりもしますが、本を頂けた事で自分の手元にあるので何度も読みました。幼少期の思い出になる一冊になりました。とてもいい取り組みだと思います。
- ・図書館を利用するきっかけにはなるかわかりませんが、本をあまり読まないご家庭では本を読むきっかけにはなると思いますし、とても良い取り組みだと思います。大きくなった今でも、自分で3歳のときに選んだ本!!と記憶に残ります。
- ・数ある中から、子どもが自分で選べたことが良かったです。ありがとうございました。
- ・成長の記念になり、いただいてうれしかったです。
- ・選ぶ中にほしい本があったのでよかった。ラインナップが同じだと兄弟がいる家庭は持っている本ばかりになってしまうかなと思った。人気の本は後の方はなくなってたと思うので事前にほしい本を希望して、当日受け取りとか、希望のものが受け取れるといい。希望制にすれば選択肢も増やせるのではないかなと思う。
- ・素敵な企画と思います。

- ・ 素敵な取り組みだと思います。絵本を自分で選ぶいい機会なので、これからも続くといいな、と思います！
- ・ 素敵な本を候補としてあげていただいた中から選ぶことができるので、とても楽しく嬉しかったです。自分が選ぶ本はどうしても偏ってしまうので、よかったです。大切にしています。本をいただけなくても、その年齢へのおすすめ図書のおたよりなどを、学年ごとにいただけたら嬉しいなと思います。図書館でも、司書の方に年齢に応じた本をおすすめしていただきたいなと思うことがあります。声をおかけしていいものかと悩みます。
- ・ 続けて欲しいです！（2件）
- ・ 大切に読んでいます。ありがとうございます。図書館の先生方がおすすめの絵本をわかりやすく、子どもにも目につくように飾ってくださっているのでもいつも選ぶきっかけになっています。ありがとうございます。
- ・ 大切に本を読ませていただいています！このままセカンドブックを続けていってほしいなと思います。
- ・ 第一子の時は、絵本選びの参考になり、第二子以降は「自分の絵本」ということで子どもも喜んでいて大変良かったです。また、普段は選ばない種類の本から選んだことで興味の幅も広がり、図書館での選択肢も増え、有り難かったです。
- ・ 第一子の場合には特に、子どもに読み聞かせる絵本を選ぶきっかけや基準にもなると思うので良いと思う。
- ・ 沢山の本に触れて世界を広げる最高の場所だと思います。手に取りやすいディスプレイの工夫など有難いです。
- ・ 知らない本に出会えたり、子どもが選べることで本に興味を持つきっかけになると思うので、とてもありがたいと思います。
- ・ 地区ごとに図書館があって本当にありがたいと思っています。
- ・ 頂いた絵本がとても良く、子どものお気に入りの1冊です。今でも、寝る前にたまに読んで欲しいと言われて、読み聞かせてあげています。絵本のプレゼントの取り組みはとても良いと思います!!
- ・ 当時子どもが好きな絵本でとても嬉しそうでした
- ・ 特にありませんが。嬉しい事業なのでこれからも続けていただきたいです。
- ・ 年齢に合った絵本を知れる良いきっかけです。また種類も豊富で、普段自分じゃ選ばないような本に出会えるのも嬉しいです。絵本は意外と高いので、プレゼントは良いですね。
- ・ 膝に子どもを乗せて読み聞かせをして、親子の大切な時間を過ごすことが出来ました。
- ・ 普段一緒に本を選ぶことがないので、とてもいい機会になった。いまだにこれは健診でもらった本だね！と本人も覚えているので、嬉しかったのだと思う
- ・ 本が大好きなので、いろいろな良い本から1冊もらえるのは とても良かったと思います。本を読む機会が増えると思います。
- ・ 本のセレクトもよかったように思います。
- ・ 本はケチらずに購入して何度も大切に読む事を基本としている我が家としては、1冊でも多く本に触れられて嬉しい限りです。本はとても大切です。ぜひ続けてください。
- ・ 本は図書館で借りることが殆どなので頂けるのは嬉しいですし、思い出になります。
- ・ 本をいただいて嬉しかったです。今でもその時の本を時々読んだりします。子どもも絵本を読んでもらえるのが大好きです。
- ・ 本をプレゼントしていただけるのは、とても嬉しかったです。我が子ら騒がしい子たちなので、図書館へは壁があるので、利用したことないのですが、意外と松本市にたくさん図書館があり、（ますよね？）驚いております。今後利用してみたいです。
- ・ 本を購入する機会が減った中でプレゼントして頂けるのは本当に有り難く思いました。
- ・ 本を頂けてとても喜んでいました。何度も寝る前に読み聞かせしました。
- ・ 幼い頃から絵本が大好きで、当時も絵本のプレゼントを大変喜んでいました。今でも大切にしています。絵本は成長してからも読み返せますし、その年代ごとに感想も変化していきます。何年たってもずっと楽しめるものだと思います。ファーストブック、セカンドブック共に素晴らしい事業だと思います。ぜひ、これからも続けていただきたいです。
- ・ 良いと思うので、これからも続けてほしいです。

要望等

- ・ 3歳児向けにしては少し難しい本や、説明なものがあって子どもに噛み砕いて伝えるのに困りました。もう少しおすすめポイントなどを記載して頂けると助かります。図書館については、気軽に子どもと行きにくいというイメージがあるのですが一回くらいは行ってみたいなと思いました。ありがとうございました。
- ・ Q4の質問内容の意味が分からなかったです(多い…が、何を指しているのか?) 12冊から1冊を選ぶ時に、

選択肢が多いか？という意味であれば、A. ちょうど良いと思います。未だにセカンドブックで頂いた絵本は、頂いた時の気持ちも記憶にあるためか子どもの思い入れも強く、度々開いています。幼稚園の頃は、よく図書館も利用させていただきましたが、小学校に行ってからなかなか時間が無く利用頻度が落ちました。図書館で取り組まれている様々なことが、図書館に行かなくても広報などに月間予定で載っていたら予定も組みやすく足を運びやすくなると思います。今後も、セカンドブックの取り組みを通して、たくさんのお子さんに素敵な絵本が届けられることを願っています。

- ・ありがとうございました。いろいろ迷って決めたことを思い出しました。今では子どもも一人で本や漫画を読むようになりました。セカンドブックという名称ですが、子どもにとってはもう何冊目かの本なので、しっかりこないなと思っていました。（市からの2冊目のプレゼントという意味かと思いますが…）今は選択できる本も増えたんですね。子どもの小学校では、まだ一年生は本の貸し出しができないので、また市の図書館へ足を運びたいと思います。
- ・いつも中央図書館を利用させていただいています。雰囲気もよく、子ども達も大好きな場所です。いつもありがとうございます。意見としては、（大人向け、児童向け含めて）古い本ばかりでほしい本がないことが多いので新書を増やしてほしいと思っています。新書コーナーはあっても、偏っている印象です。また全体の蔵書が少なく、アップデートにされていないように感じられます。
- ・このタイミングでアンケートをしても、正直覚えていないです。自宅の本棚から頂いた本がどれがみたところ「おばけのてんぷら」だったことを思い出しました！ たくさん子どもと読んで気に入っています。12冊から選んだことは忘れまし、私としては、5冊程用意していただければ、十分、子どもと選ぶ楽しさも感じられるように思います。たくさん在庫を確保しなければならないのでしたら、12種類も用意しなくても良いと思います。アンケートに12種類は、多いか少ないか聞かれても…なんとも、だと思ってしまうようにも思いますが…。
- ・コロナ禍で外出を控えていたので、図書館の利用もしていませんでしたが、今後利用したいと思います。セカンドブックの本は殆ど自宅で既に持っている本でした。下の子の時には全て持っていたので、本の種類をご検討頂くと良いと思います。
- ・セカンドブックで並べられた12冊の絵本全てに、子供が全く興味を示さないという残念な結果になった。1冊選んだものの、成長してから興味がないのは変わらず、違うジャンルの絵本ばかり読むようになった。子供が興味を示さないときは、必ずしも1冊選ぶ必要はなく「セカンドブックのプレゼントを受け取らない」という選択肢もあれば良いと思った。
- ・セカンドブックは、子どもにどんな本を読ませたらいいか？など参考になりとても良かったです。図書館への要望で、子どもを連れて行くとしてもずっと静かにはしてられず、途中で話をしたり動き回ってしまう事があります。少し大きな声を出すだけで周りの人に嫌な顔をされたりジロジロ見られる事があり、大人も本を借りたくてもなかなかゆっくり見れなかったり、行きづらいと感じます。図書館は静かにする所だということは重々承知ですし、子どもにも話はしていきますが、どうしても子ども同士話をする事があります。本を読んだり学習するスペースでは、そのような事があれば不愉快だと思うのですが、大人の本のコーナーでも本を選ぶ場所では子どもがいても、もう少し行きやすい雰囲気があれば、子どもと一緒に図書館に行く機会も増え、有り難いと思います。
- ・セカンドブックは嬉しく、選ぶのも楽しそうでした。図書館への意見です。これまで主に本郷図書館と中央図書館を利用しましたが、作家ごとに並べてある本郷図書館のほうが利用しやすかったです。目指す本が決まっているときはどちらでもいいのですが、小さい子どもは決まったタイトルから探すよりなんとなく雰囲気で本を決めるので、よく読んで気に入った作家さんの本を何冊か借りたいなと思ったときにあいうえお順より作家さん順が見やすくて助かりました。図書館に通うのは子どもたちも楽しみにしている習慣です。これからも松本市の図書館に期待しています。
- ・とても良いことをされているとは思いますが、何で絵本がもらえるのか、何のための絵本なのかの周知が不十分な気がします。松本は図書館の雰囲気がスタッフのかたも含めて暗い感じがしてなんとなく足が向きません。
- ・なかなか図書館に行けません。子どもが小さいと騒いでしまっ、周りに迷惑になるからです。図書館は静かすぎるため、小さい子を持つ親としては神経質になり過ぎてしまうので、利用するのは気が重いです。ネットなどで配送いただける形もあればさらに利用者が増えると思います。
- ・バックヤードの書庫ツアーに子どもと参加したことがあり、とても楽しんだ。未就学でも年長児程度ならば楽しめると思うので、もし可能であれば子どもの年齢ではなく、何か規定を設けてクリアできれば参加させてほしいです。

- ・ファースト、セカンドだけではなく、小学校入学もあったらうれしい。近年、活字離れはこどもだけの問題ではなく、多くのことを理解できるようになる入学のころから、子どもも本ではない方向への興味が強まるイメージがある。そんなときにまた改めて、プレゼントがあると、引き続き読書への意欲が湧くのではないかな。図書館も、乳幼児は比較的に見かけるが、小学生中学生を見かける機会が減ったように感じる。
- ・ファーストブックもセカンドブックもとても嬉しいプレゼントでした。ありがとうございます。強いて言うなら、絵本の種類に今の流行を取り入れても良いのではないかと思います。例えば、「パンどろぼう」「ノラネコぐんだん」、ツペラツペラさん、かがくいひろしさんの作品など。3才のこどもが喜んで見るような絵や内容が良いかと思います。別件ですが、保育園で週一回本を借りてきたのですが、どの本もとても古くてぼろぼろでした。うちの子が借りてくる本だけかなあと思いましたが、他の保護者の方からも聞きました。島内保育園は近くに図書館があります。保育園で図書館に行つて本を借りる機会を設けたり、近くに図書館がない保育園は図書館の本を保育園で借りられるようにするなどいかがでしょうか。図書館を利用するきっかけにもなるのではないかと思います。我が家は図書館を良く利用させて貰っています。松本市は図書館がいくつもありとても良いと思います。
- ・ファーストブックもですが、絵本を買うことはほぼないので、プレゼントは有難く嬉しかったです。図書館への要望として、蔵書点検などでの臨時休館の予定はホームページなどで情報提供をしてほしいです。私が知らないだけで、既に何かのツールでお知らせしているのなら、ごめんなさい。
- ・ほとんど持ってる絵本だったこともあり、もっと選択肢があればありがたいかもしれません。
- ・もう少し種類を増やして欲しいのと長く利用できるものもいい。それかその子の好きなジャンルが購入できるような図書カードの方がありがたい。
- ・絵本のプレゼントはありがたかったです。家の近くに図書館がないので、もう少し図書館の数を増やしてほしい。
- ・頑張つて続けてほしい。アンケート結果を事業をやめる言い訳にしないでほしい。予算を削るためのアンケートはよくない。
- ・兄弟がいると、選んでいただいた12冊では重複するものが多く、選択肢が少なかった。定番絵本だけでなく、新刊のおすすめを何冊か入れていただけると嬉しいです。
- ・兄弟が多いと、持っている本だったりして選ぶ本の種類が減ってしまうので、バリエーションを増やすか、選べる本を変えてほしい。
- ・兄弟関係がいると、欲しい本がかぶってしまうことがあるので、本の種類を変えてもらえるとありがたい。
- ・候補の中の本がすでに持っているものが多く、選択肢が少なかったです。
- ・子どもが自由に声も出せる。健全な空間がほしい。塩尻の図書館に行ったら軽い衝撃だった（笑）。
- ・小学校に入ってからどんな本を読ませたらよいのかわからない。おすすめの本などがあれば知りたい。
- ・親の私が図書館を利用したことが少なく、雰囲気のにまれ、図書館など静かなところでの子ども連れは迷惑だと思つてしまいます。子どもには本に触れて欲しいと思つていますが、どうやったら好きになってくれるのか私も分かりません。図書館に行きたいと思えるイベントがあると嬉しいです。
- ・親子で絵本に親しむいい機会になりました。ですが、図書館に行くきっかけまでにはならなかったと感じます。
- ・図書館に楽しい本はあるが、教室の絵本が古くてボロボロだと聞いています。教室の本も順繰りに入れ替えして欲しいです。
- ・図書館の本の貸し出しを図書館へ行かなくてももっと身近に借りられるようにしていただける、例えばスーパーの一角とかだと借りやすい。
- ・選択できる本がもっとあればいいのにとつた記憶があります。
- ・全館まわるスタンプラリーはこどもがすごく楽しんでいました。そのようなイベントが、もっとあればいいと思います。手作りも素敵でしたが、景品などはしっかり予算をつけて、あらかじめどんなものが、何人にあたるのか周知して欲しいです。結局、コンプリートして応募しましたが、どうなったのかよくわからないので。セカンドブックはありがたいですが、少し弱い気がします。それをきっかけに何か変わったわけではなかったのです。
- ・大人の雑誌（雑貨・建築等）をもう少し増やしてほしい。子どものかがくの本をどこの図書館にも置いてほしいです。
- ・長男の時にはセカンドブックが無かったのでとてもありがたい制度だと思つた記憶があります。ただ、図書館の利用は子連れだと敷居が高い様な気がします（静かにしなければならない等）もう少し子ども向けイベント（を行つていらっしゃると思うのですが存じていないので）周知等を広く行つて頂けると、図書館へ足を運びやすくなるかと思つています。
- ・定番の絵本の選書が多いので、おうちにある、兄弟でもっている方も多い気がします。新刊と、昔から読まれている定番の絵本を混ぜて選べる様にすればいいと思います。健診で書く際にももっと絵本の良さや、読み聞かせ

のやりかたなど教えて頂けるといいかなあとと思います。

- ・読み聞かせが大事だとは思いつつ、ほとんどできていませんでした。自分も以前は読書が好きでしたが今は全く読んでいけませんので、子どもたちに本を読めなど言えませんね。このアンケートで読み途中の本がある事を思い出しました。もう何年も前ですが。また読んでみようと思います。親が読んでいたら子どもたちも読むだろうと期待しながら。図書館では自分に合った本などを紹介していただけるのでしょうか？以前寄った際は司書さんに話しかけられる雰囲気ではなかったので遠慮してしまいましたが。歳を重ねて以前好きだったものに心動かなくなりまして、何を読めば良いかわからなくなっておりますので、フローチャートの様な簡単なもので読みたい本がざっくりでもわかると素敵かなと思います。
- ・内容重視の本もいいですが、キャラクター物の本が選べても良かったかなあとと思います。
- ・乳児にではなく、学校の本を充実させた方が良いと思う。
- ・年齢または、学年別に推奨コーナーをつくってほしい。
- ・本の貸し出し数の上限を失くしてみてもいいでしょうか。以前別の地域にいましたが、そこも図書館の利用促進から、図書カード一枚での貸し出し本数が無制限でした。制限なくても、持って帰れる以上の持ち帰りはしないし、常に何冊でも借りれるとなると別に無理して大量に借りる人もいないもんだなあとという印象です。私の場合は、子供も多く小さい子を連れての利用が多かったため、なかなかゆっくり本を選べないので、タイトル表紙を見てから隔週でたくさん借りて帰り、棚にずらっと並べて毎日読み聞かせをしていました。絵本と自分が読みたい本や料理本、雑誌とかを40～50冊ほど借りてました。ランダムないろんな絵本に触れることで、何度もせがまれるお気に入りが出てきたり、ハテナ？で終わったり、反応も面白く、また兄妹の年代に寄って理解力が違ってその反応もまた面白く。絵本買ってもハマらなかったら一度きりなので、図書館でヘビロテになったら購入を考えていました。やがてお気に入りシリーズが見つかったら今度はネットで予約をして、届けておいてもらうこともしていました。絵本の読み聞かせは自分としては下の様なさまざまな理由から子育て期間の大事な要素でした。1. 何も考えなくていい（読むだけなので） 2. いい話だと単純に嬉しい 3. 父親でも教えなくてもできる 4. 時間がつぶせる 5. 寝る時のルーティン、寝にいくののモチベーションにできる 6. 気分転換になる 絵本を読むことが増えたきっかけは、6歳ほど上の親戚からごそっと絵本のお下がりをもってからです。それを機にかれこれ10年以上図館を利用しています。リサイクル本をもらったり出来るのも嬉しいです。松本市でもカードが5枚あるので50冊は借りれるのでいいんですが、全部のカードを出して一枚ずつ印字するのは若干手間に感じてます。ただ私は子どももだいが落ち着いたので問題ないですが、小さかった頃だったらめんどくさくなってたかもですね。ゆくゆくはアプリで予約も貸し出しもして、その場で本の貸し出し一覧がわかったり、おすすめや新作の情報が出たら嬉しいですね。
- ・本郷図書館をメインに利用しているが、検索したほとんどの本が他の図書館(波田や寿)にあるので、本郷にももう少し幅広い種類の本を置いて欲しい。
- ・有名な本が多いのと、定番のものがあるので、兄弟がいると選択肢が減る事もあるため、もう少し発見になるような本があると嬉しいです。
- ・欲しい本がそれぞれ異なるので、図書カード等が良かった。

その他

- ・3歳児健診の際に、海外に住んでおり受けていません。健診を受け、セカンドブック受け取りたかったです。本は安いものではないですし、お下りの本は読み飽きています。新しい本をいただけたら、新鮮な気持ちで読み聞かせ出来たと思います。
- ・いつセカンドブックは配布されたのでしょうか？もらった記憶がありません。
- ・コロナ禍では、一時図書館利用を控えていましたが、最近になって再開したところ、子どもは待ち望んでいたようでとても喜びました。タブレットやメディアばかりになりがちでしたが、自分で選ぶ喜び、想像力を豊かにする時間、親子の関わりなど、とても有効だと再確認しました。これからも、たくさん利用させていただきたいと思います。
- ・セカンドブックは嬉しかった。ネットからよく予約して本を借りるが、毎回ログインしなおさないといけないのが大変。
- ・駅前や公民館にブックポストを設置してほしいです。
- ・絵本が大好きで毎日読み聞かせをしています！図書館も2週間に1度必ず利用させて頂いています！前にスタンプラリーを集めてしおりやトートバッグを抽選でもらえる企画があったと思うのですが、またやって欲しいです。子どもと一緒に市内の色々な図書館に行くのも楽しかったですし、前回はトートバッグが当たらず、またやりた

いなあって子どもたちも言っていたので♪

- ・開館の時間帯がほぼ仕事の時間帯なので、嵐の日ぐらいしか行けません。
- ・月齢に合った絵本がわからなかったり、自分の好みでは選ばない本などもあって子どもに絵本を選ぶ時に視野が広がるきっかけになりました。
- ・健診を受けなかった場合もプレゼントを受け取れると嬉しい
- ・今年の4月から松本市へ移住したのでセカンドブックについては知りませんでした。とても素敵なプレゼントだと思います。
- ・子どもが2歳まで塩尻市の方に住んでいた。セカンドブックが子どもが3歳の時からだと知りませんでした。小さい時は図書館が近くにあり、好きで良く行っていました。最近は 図書館まで少し時間がかかるので なかなか行けていません。もう少し 近くにあると 活用する機会も増えるかな？と思います。
- ・小さい子を連れて行くのは騒いだりして申し訳ないという気持ちで足が遠のいてしまいました。
- ・小学生の学年に合わせた感じで本を陳列してもらえると、自分で選びやすいかな？とおもいます（特に低学年）
- ・人気の絵本はプラザや出先に置いてあるものが多く、自宅にも置こうか悩む。読み聞かせのきっかけにはなったが図書館へ足を運ぶ、とまではならなかった。
- ・前例踏襲は悪いことではないですが、もっと世の中を見て松本市以外や世界の図書館がどのような活動をしているか研究して実践してください。
- ・他の自治体に住んでいてもらえませんでした。母子共に嬉しいと思うので、続けて欲しいです。
- ・他県のように、読書通帳を導入して欲しい。過去に借りた本や、購入した場合いくら分の本を読んだかわかるので、とてもいいシステムだと思う。
- ・本は電子書籍で読みます。子供の頃は図書館をよく利用していましたが、最近は全く行きません。図書館としての機能以外に、市民が集まれる施設として活用するのも良いのでは無いかと思います。

サードブック事業のアンケート集計

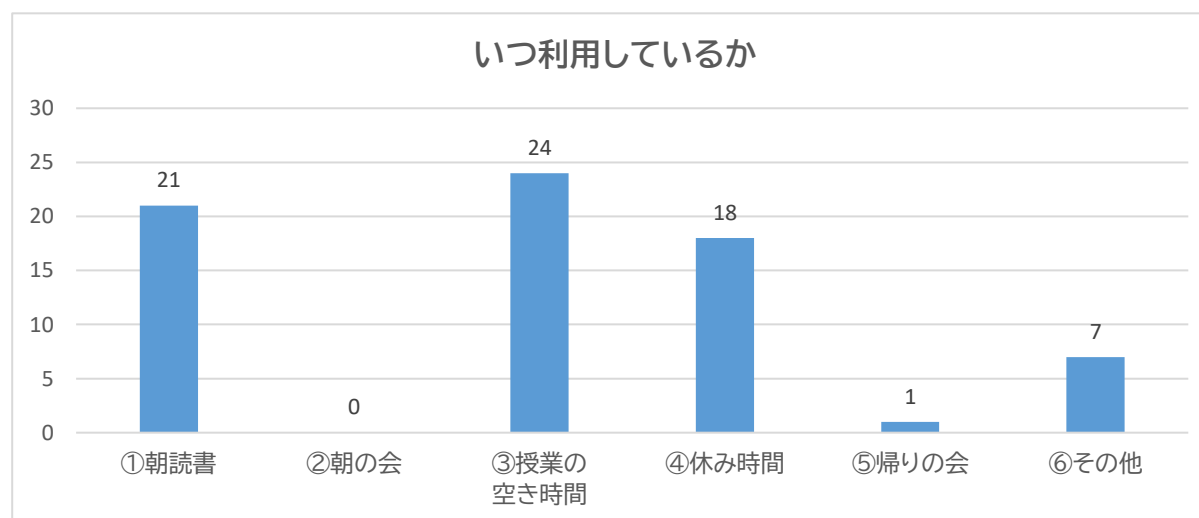
調査期間	令和6年1月11日～1月22日
調査対象者	松本市立小学校1年生担任および学校教諭・学校司書
調査方法	各学校にメールで依頼（回答は庁内メール便またはFAX、Eメール）
調査小学校数	27校（奈川小学校は1年生がいないため除く）
回答数	27校
回答率	100%

1 サードブック（学級文庫）を子どもたちがいつ利用しているか、また、その頻度について○をつけてください。（複数回答可）

(1) いつ利用しているか

- ① 朝読書 ② 朝の会 ③ 授業の空き時間 ④ 休み時間 ⑤ 帰りの会
⑥ その他（具体的にご記入ください）

①朝読書	②朝の会	③授業の 空き時間	④休み時間	⑤帰りの会	⑥その他
21	0	24	18	1	7



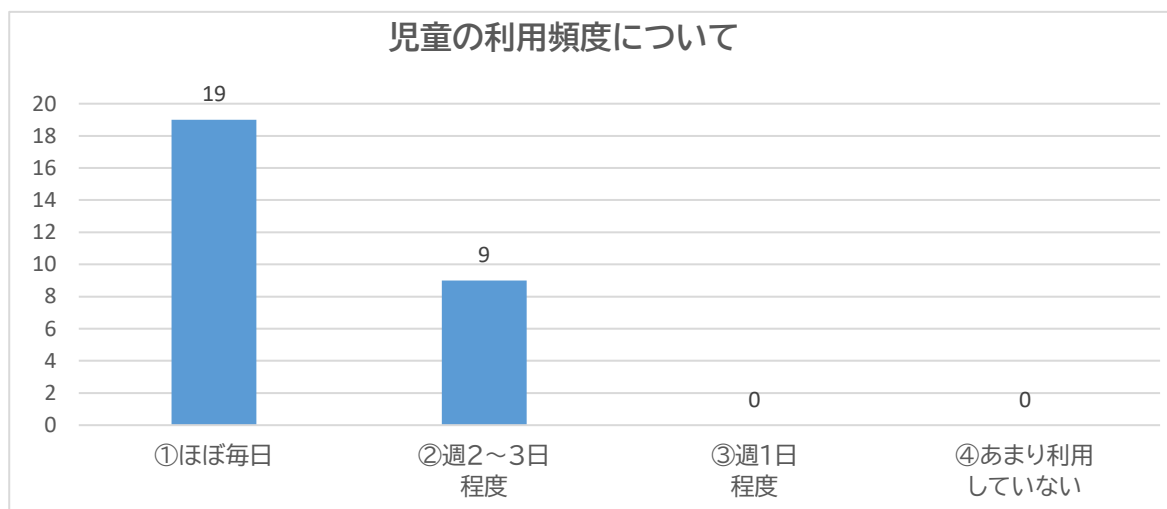
⑥ その他の理由

- ・ 給食を早く食べ終わった子のごちそうさまの時間までの間
- ・ 授業の中で活用しました。（生活科の調べ学習）（国語の読む領域の並行読書や読書活動）
- ・ 週に2～3回
- ・ 本を読みたい児童が毎日（読みたいときに）利用
- ・ 課題が早く終わった子が読書をしている。
- ・ 本校は本年度、掃除の後に読書の時間があるので、その時に読んでいる。
- ・ 全校読書の時間
- ・ ちょっとしたすきま時間があると本を手にとって読んでいる子たちがいます。
- ・ どんな本があるんだろうと興味津々です。
- ・ 掃除後の読書の時間
- ・ 業間の休み時間に本校では15分間の読書の時間が、曜日によって位置づいており、1年生の子どもたちもとても喜んで活用させてもらいました。

(2) 児童の利用頻度について

- ① ほぼ毎日 ② 週2～3日程度 ③ 週1日程度 ④ あまり利用していない

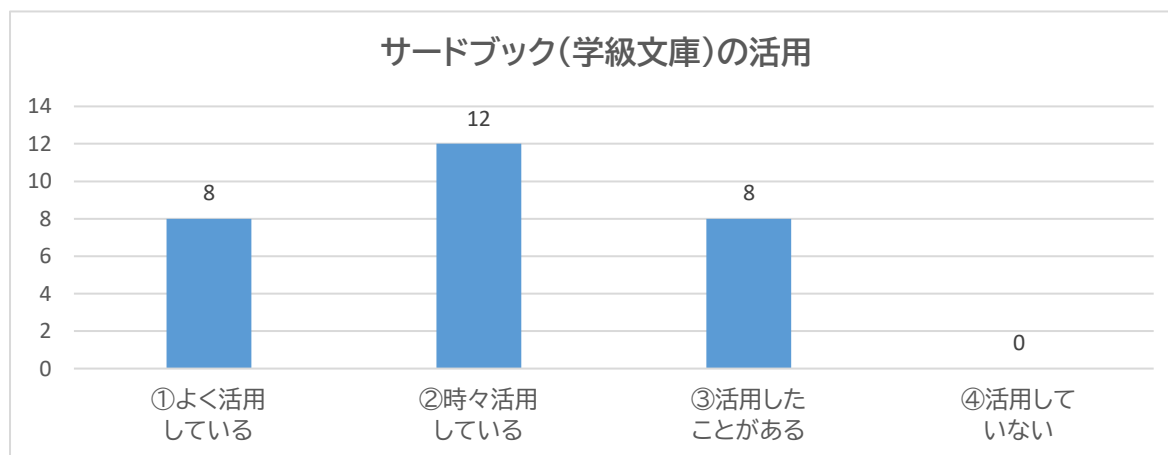
①ほぼ毎日	②週2～3日 程度	③週1日 程度	④あまり利用 していない
19	9	0	0



2 サードブック（学級文庫）を担当の先生がどの程度活用しているか○をつけてください。

① よく活用している ② 時々活用している ③ 活用したことがある ④ 活用していない

①よく活用している	②時々活用している	③活用したことがある	④活用していない
8	12	8	0



①～③の具体的な活用方法

- ・ 読み聞かせ（18件）
- ・ 子どもたちが読んでほしい本の読み聞かせ（どろぼう学校、おふろだいすき）
- ・ 学級文庫と同じように読みたい時にはすぐ手に取れるようになっています。子どもたちはサードブックが大好きで、とても人気な本が多いです。
- ・ 自然が大好きな子どもたちなので、興味を持ったことは「こんちゅうずかん」「しょくぶつずかん」で調べたり活用を促している。
- ・ 子ども達が外で虫を捕まえたり、植物を採取するので、名前を調べるために図鑑を利用しました。
- ・ 生活科学習の図鑑（いきもの、植物）
- ・ 全校読書の時には、自由に活用させてもらった。
- ・ 空き時間のコミュニケーション
- ・ 朝読書や給食後の時間に読み聞かせ

3 教科学習・授業や学校行事などに関連して活用した例があれば、どのような活用方法か教えてください。（複数回答可）

(1) 活用した本のタイトル

タイトル	回答数	タイトル	回答数	タイトル	回答数	タイトル	回答数	タイトル	回答数
「図鑑のりもの」	4	「おおきなおおきなおも」	2	「じごくのそうべえ」	1	「どんぐりころころ」	1	「びゅんびゅんこまがまわったら」	1
「100」	3	「おくちのたいそうあいうえお」	2	「はじめてのずかん（こんちゅう）」	2	「なぞなぞはじまるよ」	1	「ものぐさトミー」	1
「1ねん1くみの1にち」	2	「おなら」	1	「図鑑MOVE植物」	2	「ねずみのすもう」	2	「ブレーメンのおんがくたい」	1
「あさがお」	10	「こっきの本」	2	「せかいとであう本」	1	「はじめてのずかん（こんちゅう）」	2	「ゆきのけっしょう」	2
「おおかみと七ひきのこやぎ」	1	「こんとごん」	1	「とのさま1ねんせい」	2	「まちのくるま」	2	「図鑑ぜんぶ」	1

(2) 関連する教科・授業・学校行事など

教科・行事など	件数	教科・行事など	件数
国語	3	工作	1
生活科	11	学級指導	1
算数	1	読書活動・読書週間	2
社会(調べ学習)	1	朝の会	1
理科	1	一日入学	1

(3) 活用方法（具体的にご記入をお願いします）

- ・ 自動車くらの学習で車のつくりや仕事を調べた
- ・ 読書週間になかよし学級の6年生とペア読書をする際に使用させてもらったり、来年入学の保育園の年長さんに読み聞かせしたりできました
朝の読書活動も「この本読んで！」とリクエスト沢山ありました
- ・ 国語 教科書(上)に紹介されている本なので、読み聞かせをした
- ・ 国語 ひらがな学習と音読練習に利用
- ・ 国語 むかしばなしをよもうの読み聞かせたり、児童が読んだり
- ・ 国語 教科書(下)「じどうしゃくらべ」の単元で図鑑づくりのための調べ学習に使用
- ・ 算数 3学期はじめに大きい数で100を学習する際に利用
- ・ 生活科 あさがお栽培をしたので、種まきのころから枯れて次の種ができるまで資料として度々利用しました
- ・ 音楽「ひのまる」の学習で利用
- ・ 道徳で利用
- ・ 読み聞かせ、国語の自動車ずかんを作ろうで活用（のりもの）、「知らせたいな 見せたいな」（国語）サードブックの本を活用する子が何人かいた
- ・ あさがおの成長、仕組みの確認、カタカナのことば集め、読書週間の読み聞かせ
- ・ 苗植えの後、これからどうなっていくのか見通しを持つため
- ・ 国語の授業で子ども同士の本の紹介に使用
- ・ 意識づけ、まとめ、あさがおの成長の振り返り
- ・ 図鑑で根拠を持つ。食べるものや住んでいる場所から捕まえるための仕掛けを考えて作ったり、発生時期を調べたり、図鑑に書いてあることを元に学びが深まり、広がる様子がみられた。図鑑は図工でも活用
- ・ 国語の「むかしばなし美術館づくり」「いろいろな自動車ずかんづくり」で活用
- ・ 図鑑を見て絵を描いたり、車の仕事、つくりを調べてワークシートにまとめた
- ・ あさがおの育て方などの見通しを持つために使用（1年間の育て方）
- ・ 学校でおならについてのからかいがあった時に使用
- ・ あさがおの生長について、生活科で学習する際の読み聞かせ
- ・ 1・6年生さつまいも交流でイモ掘りをする際、事前に読んだ
- ・ 春夏秋冬いきもの探して本を見ながら行いました
- ・ 来入児との工作のために事前に紹介し、気持ちを高めた
- ・ 雪が降った際に紹介
- ・ 調べ学習の資料として、工作の題材選び等に活用している
- ・ あさがおを育ててきた子どもたちにまとめとして、読み聞かせを行なった
- ・ 冬の季節の変わり目に読み聞かせをした
- ・ あさがおの栽培活動等に紹介した
- ・ 1年生の生活の流れを子どもたちと確認する時に使用した

4 サードブック(学級文庫)を設置してからの子どもたちの様子はいかがですか。（自由記述）

- ・ いろいろな種類の本があるので、あきることなく喜んで手にとっている
- ・ それまでの学級文庫といっしょによく読んでいます。虫の図鑑は大人気でいつも順番待ちです
- ・ 図書館での選書がバツグンによくなりました。良書をさらっと選べるようになり、この本読んでと「ぼちぼちいこか」「三びきのやぎのがらがらどん」など読みきかせをすると、その後音読を楽しんでいる姿が確認できました
- ・ 新しい本が教室に来てとても喜んでいました。授業で取り上げた本を自分で読もうとする児童が多かった
- ・ 他の学級文庫同様によく手にしている

- ・新しい本に興味を持ち、喜んで読んでいた
- ・本を読む姿を見かけるようになった
- ・朝読書の時に利用している児童が多い
- ・空いた時間に進んで読書をする子どもが増えた
- ・様々な本があるので、飽きることなく楽しむ様子が見られる
- ・学級に廃棄本や寄付の学級文庫もありますが、やはり新しい本は嬉しいようです。朝読書でたくさん読ませてもらっています
- ・半年に1度クラスでサードブックを交換したことで、サードブックに対する興味を持ち続けることができました。多様な本に触れることができ、本を読むことを楽しみにしています
- ・よく読んでいる本が新しいことや子どもの好みに合っていると思います
- ・新しい本だったので子どもたちは学級に置いてあることにとても喜んでいました
- ・それぞれの子が好みで選んで、時間があると読んでいます
- ・積極的に読んでいます。おもしろかったものを紹介しあう姿もある
- ・図鑑などをよく手に取っている
- ・新しい本がたくさん届き、とても嬉しそうです。興味津々で読んでいます
- ・学級文庫にないお話や図鑑を喜んで読んでいます
- ・既存の図書本よりも喜んで読んでいます
- ・多様な本が身近にあることで本との距離が近くなった
- ・「この子は今日はこの本を手にとったんだ」という発見がある
- ・図鑑が教室にあるのはありがたい（根拠を見つけようとしたり、よく調べて考える姿が見られる）
- ・3クラスで期間を区切って本の交換をした。入替をするとさらに喜んで進んで手に取って読んでいた
- ・いつも身近なところに厳選された良質の本があるので、子ども達も幸せだと思ったり担任としても安心して読み聞かせに使用でき、とても助かっている
- ・今までになかった本が増えて喜んでいました(図鑑は人気で取り合いになっていました)
- ・よろこんで本に親しんでいる。「こっきのえほん」人気です
- ・本によって子どもたちの興味・関心が広がります
- ・図書館の本がないとき、ない子がとてもよく利用していた
- ・自由に手に取り読めるので、興味津々で個々に選びやすそうでした
- ・新しい本がほとんどなので、子ども達にとって初めて出会う本もありました
- ・喜んで読む姿が見られ、本への興味が高まった
- ・元々本が多いのですが、コレクションが増え、子どもたちも喜んでいます
- ・学級文庫の冊数が増え、本を手にとることが多くなった
- ・喜んでいて
- ・本がきれいで読みやすい
- ・本の好きな子は喜んで読んでいた

5 サードブック（学級文庫）の運営、本の管理等についてのご意見(自由記述)

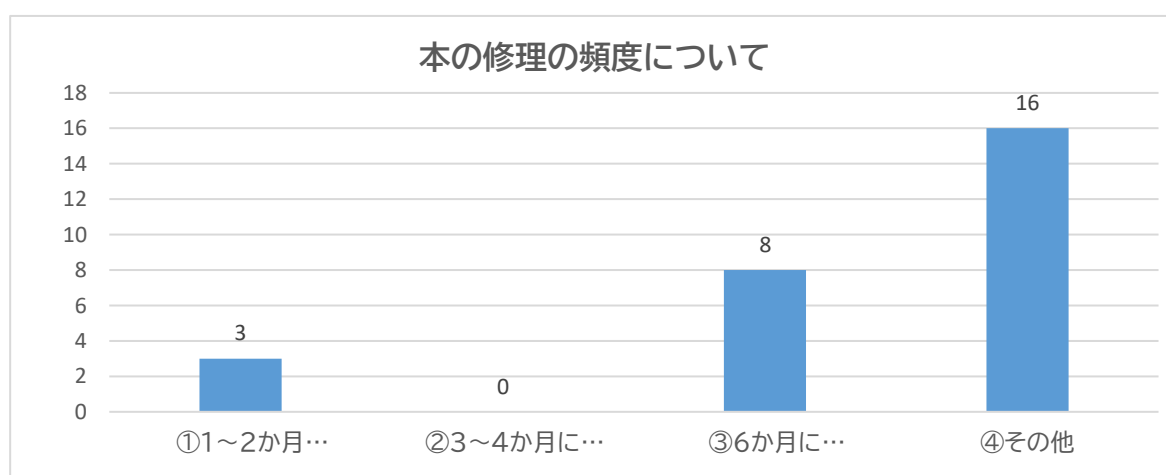
- ・学級文庫の管理は担任に任せ、司書は関わっていないので、サードブックも同じようしている。本のリストは控えている。破れた本などは図書館にもってきてもらい、司書が修理している。教室にある本なので、管理は担任にお願いしたい
- ・1年担任の先生が管理・活用しているので、司書は何もしておらず、お任せ状態です
- ・青い箱（学級文庫用の箱）に入っていたので、もともと廃棄の本と一緒にならず、ありがたかったです
- ・担任はいただいた本の冊数がちゃんと戻されているか確認している。クラスの係の子が整理整頓をしてくれている
- ・貸していただいている本と以前からあった本が混在している。子どもたちの手が届く設置場所が少なく、本の置き場に困っている
- ・できればブッカーをかけてほしい
- ・新しい本が入るとやはり人気があります。図書館、学級文庫、サードブックと3種類あるので、わかりやすく印をつけてもらい、ありがたかったです
- ・学級文庫として良書が身近にあることは理想だと思います。管理状況はほぼ担任の先生任せになるので、負担が少し増えるかなと思います
- ・サードブックを1年生の教室からお借りして、図書の時間に読み聞かせをしたり活用させていただいています。2～3か月に一度汚れや破れがないか確認しています

- ・ 管理は学級担任にお任せの状態です
- ・ 学校自体の学級文庫がないため、サードブックで本を貸していただくことがありがたい
- ・ 各クラスに置いてあるので、担任の先生方にお任せしている。3か月ごとに入替えしている
- ・ 担任の先生にお任せしています
- ・ 本箱が合わない（本を置く場所がない）
- ・ 子どもたちが丁寧に本を扱えない
- ・ 本との出会いはとても良い
- ・ 学校の図書とは分けて管理しています
- ・ 本校の元々あった学級文庫は劣化の激しい本が多かったので、新しくてバリエーションが豊富な本を設置していただけてありがたかった
- ・ 本の管理については、頻繁に学校司書が点検に行けないため、普段は担任の先生にお任せしている状態です
- ・ 本の管理は特に困ることがない
- ・ 専用ボックスに読んだら片付けができるので、助かっています
- ・ 既存の学級文庫（主に市図書館のリサイクル本）と教室の棚に入れて使用しています
- ・ 市配布の青いコンテナは破損しそうで怖い、背表紙のシールはありますが、子ども達に区別は難しい（担任）とのことで、コンテナは現在図書館で保管しています
- ・ 各教室の廊下に置いてあり、すぐ手に取ることができ、大変よい
- ・ 管理・運営は担任の先生にお願いしてあります
- ・ 特になし
- ・ リス（ライブラリス）のシールを貼ってあるため、わかりやすい
- ・ 今後、サードブックと図書館の登録本、借りた本と混ざってしまうことがないか心配です
- ・ クラスの様子は把握していません

6 本の修理の頻度について○をつけてください。

- ① 1～2ヶ月に1冊程度 ② 3～4ヶ月に1冊程度 ③ 6ヶ月に1冊程度
④ その他（具体的にご記入ください）

① 1～2か月に1冊程度	② 3～4か月に1冊程度	③ 6か月に1冊程度	④ その他
3	0	8	16



④その他の理由

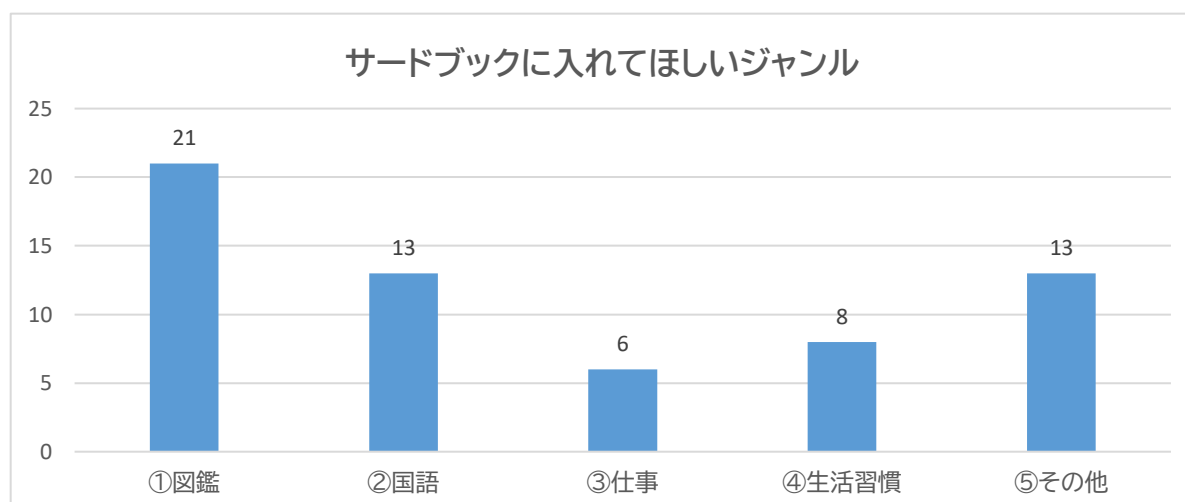
- ・ まだスタートしたばかりなので、きれいな状態。（修理は1冊）
- ・ 今はまだ本が新しいので修理の手間がありません。大人気の図鑑は状態によって入れ替えが必要です
- ・ 図書館司書からも「本を大切に扱うこと」「破れた本があればすぐに申し出ること」を話してもらい、修理の本があれば修理をした
- ・ サードブックについては数冊
- ・ 中央図書館に修理依頼している。丁寧な梱包ありがとうございます
- ・ 1～2週間に1回、まとめて数冊程度
- ・ 担任は修理している時間がない
- ・ 管理を任せているので、修理が必要かどうかわからない（特に修理の申出はない）
- ・ 表紙と本文が外れてしまった大型本を1冊修理しました
- ・ 修理はない（10件）

- 7 サードブック(学級文庫)の設置により、学校図書館に変化はありましたか。(自由記述)
- ・ 1年生の図書館利用は7月から(学校によっては2学期から)なので、学級文庫が充実しているとありがたい
 - ・ 特に影響はない。じごくのそうべえなどの続編の貸出しに繋がるといいと思う
 - ・ 子どもたちが良書を上手に選んで本を借りていました。おかげさまで感謝しています
 - ・ よくわからない
 - ・ 本を手に取り、積極的に読書する姿が見られる。高学年児童もよく読書している
 - ・ 1年生は9月から図書館の利用ができるので、変化については分からない
 - ・ 特になし
 - ・ サードブックには、様々な厳選された本があり、ありがたいです。学校でもどんな本を選書したらよいか苦労しています。学級文庫だけだと物足りないので、身近に本が増え、子どもたちが利用しやすくなりました
 - ・ 学級文庫にある本は、図書館で借りなくなりました
 - ・ 変化はない
 - ・ 図書館の本を読み終わった子はサードブックを利用しているので、特に影響はない
 - ・ 子どもたちが本を読む習慣がつき、本好きの子が増えた
 - ・ 最初は目新しさもあり、子どもたちも活用していたようだが、特に変わりはないように思う
 - ・ 学級文庫の本も読み、図書館の本も読み、本に触れる回数が増えました
 - ・ サードブックでは調べられなかった事柄を図書館に来て図書館の本で調べてくれた
 - ・ サードブックにある本を自分でじっくりと読みたいと言って図書館にある同じ本を借りていってくれた
 - ・ 貸出数が伸びたということはありませんが、いつも身近なところに本があるおかげで、本に(図書館にも)親しみを持ってくれているように感じます
 - ・ 「この本、教室にもあるよー」と言って、図書館の本を見てくれています
 - ・ 図書館にきてサードブックの本を見つけると、教室にもあるよと教えてくれて読んだ本の感想を教えてください児童もいます
 - ・ 1年生は絵本のみ貸出していますが、たくさんの子どもが利用しています
 - ・ サードブックの関係で特に変化はないです
 - ・ 学級で読んでもらった子が図書館へ多く来ているように思います
 - ・ サードブックで子どもたちが好きになる本、興味を持てる本を多くすることで図書館へも親しみを持ちやすくなると思います
 - ・ 公立図書館に興味がわき、将来利用したいそうです
 - ・ どちらも利用しています
 - ・ 1年生の図書利用の時期が遅くなっても学級文庫があることにより困ることが少なくなったように思う。(学校生活が落ち着いてから図書館の利用ができる)
 - ・ 変化はない(6件)

8 今後、サードブックに入れてほしい本のジャンルに○をつけてください。

- ① 図鑑(植物・動物・昆虫・からだ) ② 国語(言語) ③ 仕事 ④ 生活習慣
⑤ その他(具体的にご記入ください)

①図鑑	②国語	③仕事	④生活習慣	⑤その他
21	13	6	8	13



⑤その他の理由

- ・ 最強王図鑑
- ・ 生活科の本・むかしばなし
- ・ 国語の教科書に紹介されている本
- ・ 働く自動車の本
- ・ 絵本、点字の本（旭町小は盲学校と交流してるので）
- ・ 植物・昆虫（ポケット版NEOが使いやすい）
- ・ ことばあそび
- ・ 図鑑はありがたい（複数あると学びが生まれる）
- ・ 詩の本があるとよい
- ・ どうぶつ、からだ、のはらうた
- ・ 身近に本がある環境を作ることができるので、このような事業がありがたい。本も新しいものばかりなので、子どもたちも喜んで読んでいる。
- ・ おはなしの本
- ・ 図鑑、光村図書のこの本読もうコーナーの本、「へんてこもり」「ドングリ山のやまんばあさん」など
- ・ 食育関連、絵本
- ・ おばけずかんシリーズ
- ・ 学習の導入に使える本（国語、算数、生活科など）教科書と連動していると使いやすく、児童が興味を持ちやすいです。
- ・ おさほう、ちくちくことば、ふわふわ言葉の本など
- ・ のりもの（図鑑）
- ・ 100万回生きたねこ
- ・ 長新太の本
- ・ ヨシタケシンスケの本
- ・ 物語がもう少しあると良い
- ・ 算数や科学に関する本
- ・ 教科書掲載の本
- ・ 偏らず、色々なジャンルの本があるとよい。
- ・ 教科書が変わるタイミングでの巻末資料等
- ・ 国語の教科書（調べ学習）に関わった本、生活科の行事に関わった本
- ・ ミッケ（字が読むことが苦手な子のために）
- ・ なぞなぞの本

9 その他、ご意見・要望などありましたらご記入ください。

- ・ 1年生はまだ休み時間図書館に来る子が少ないので、学級文庫が充実しているのはありがたい。字が読めなくても、見て楽しめる図鑑類がもう少しあってもいいと思います
- ・ とても素晴らしい機会だと思います。今後ともよろしくお願いします
- ・ 修理のために図書館へ本を送るのは手間なので修理テープを配布してほしい。ブッカーがかかっていると良い。しかけえほんは壊れやすいので入れない方がいい
- ・ 学級文庫を設置していただきありがとうございます。クラスの大切な本としてみんなで楽しく読んでいます
- ・ 学級に本があることはとてもよいことだと思うので、今後も資料を追加して続けていただけるとありがたい
- ・ 特に1年生は図書館の利用が9月からなので、4月から利用できる本があるのがうれしい。（読み聞かせに使用できる）
- ・ ブックススタート、セカンドブックの利用はどうか
- ・ サードブックは学校で保管できているので、もう少し冊数が多いと子どもたちにしっかり読んでもらえる
- ・ サードブック、とてもありがたいです！ありがとうございます
- ・ サードブック事業として1年生対象の学級文庫となっていますが、教科書改訂に伴い、各学年の「教科書に出てくる本」のブックセットなどを学級文庫用として配置していただけるとより充実すると思います
- ・ ケースがもう少し固めのしっかりしたケースだとありがたい

- ・本の冊数に合った箱だとななめになりにくくありがたい
- ・サードブックにより、子どもたちが多くの本に触れることができ、大変ありがたいです
- ・良い本で子どもたちに読んで欲しい本が多いのだが、今の子どもたちには、少しハードルが高い本が多い気がする（絵の可愛さなどから手に取る子が多いので）
- ・たくさんの新しい本を学級文庫としていただけて、とてもありがたい。図書館の本は古い感じなので、新しいということで、子ども達が手に取る率がぐんと上がり、本に親しむ機会に繋がっています
- ・本に囲まれる環境はとてもありがたい。引き続きよろしくお願いします
- ・サードブック事業は何らかの課題（問題）への対策だとしたら、何が課題なのか、それが対策へどうつながるのか、明確になるとよいと思います
- ・毎年行うのか、毎年本を替えるのか、この活動の見通しがよく分からないので教えていただきたい
- ・1年生は学校図書館での貸し出しが遅いので、学級へ設置することで本に親しめ、とてもありがたい
- ・子どもたちの興味や教科、学習の内容に応じて図書館からもたくさん本を借りてミニ図書館のようにしています。サードブックも入ったおかげで幅が広がり、用途に応じて大人が使い分けるのはもちろん、子ども達が必要に応じて選択できる幅が広がったのは大きな成果だと思います
- ・とてもありがたいです。今後ともよろしくお願いします
- ・今後の継続を希望します
- ・図書館所蔵の図鑑は館外貸出はしていない（例外あり）ので、教室に図鑑がある環境はとても良い
- ・できれば半期に一度、本の交換をして欲しい。（2クラスで交換しているが、読み終わっている子もいるので）
- ・1年生だけでなく、他の学年にも本棚があるとよい（高学年にもお願いしたい）
- ・装備をしてもらったので、すぐに使えてありがたかったです
- ・様々なジャンルの本を入れていただいたので、1年生の子ども達にとって新しい本と出会うきっかけになりました
- ・とてもありがたかったので、2・3年生の低学年にもあると嬉しいです
- ・予算がつけば、今回設置してもらったのとは別のシリーズ（箱）の本も設置して貰えると嬉しいです

10 検証結果

- ・サードブックを学級文庫として、小学校1年生の学級に設置したことについて、アンケートの意見を見ると、子どもたちが新しい本を喜んで読んでいること、学校の授業や読み聞かせなどに、現場で本を活用してもらっている意見が多かったので、おおむね好評だと判断できる。
- ・次回の見直しの時は、今回のアンケートの意見を踏まえ、先生の意見を反映しながら、ブックセットの選書に活かしたい。
- ・まだ設置したばかりなので、頻度は少ないが本の修理について、どのように効率的にできるか検討する必要があると感じた。
- ・引き続き、子どもたちの読書環境を整えるために、サードブックの運用について検討していきたい。

関係施設・機関アンケート集計

アンケート集計（対象施設：市立小学校 28施設のうち回答28施設）

※上記対象施設のうち、安曇・大野川・奈川は小中学校としてまとめて回答。小学校に集計。

1. 図書資料について

(1) 施設の蔵書数と貸出状況

蔵書数計	学級文庫数	学級文庫の冊数
339,470	272	15,973

(2) 第2次計画策定時と比べて

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
3	8	6	0	10	0

(3) 一回あたりの貸出数

2冊	3冊	5冊	6冊	10冊
20	5	1	1	1

(4) 一回あたりの貸出期間

制限なし	7日間	14日間	30日間
0	22	5	1

(5) 貸出実績（令和4年度 756,200 冊）

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
4	3	2	0	14	5

2. 図書館だよりについて

(1) 図書館だよりの発行回数

おたよりの発行回数
168

(2) 読書に関する情報発信は、第2次計画策定時と比べて増えているか。

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
2	5	14	4	2	1

3. 令和4年度の読み聞かせ・全校一斉読書について

(1) 読み聞かせ・全校一斉読書の実施回数など

実施回数	図書室で行った実施回数	外部講師（有償）による実施	ボランティア（無償）による実施
5,725	4,933	70	406

(2) 読み聞かせボランティアの人数について

いない	1人～5人	6人～10人	11人～15人	16人～20人	20人以上
7	4	6	5	3	3

4. 令和4年度の松本市図書館の利用について

(1) 団体貸出文庫の利用について

利用回数	団体用資料利用冊数
15	294

(2) 団体貸出文庫のセット本を利用しているか

利用している	セット本のことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	セット本のことは知らなかった
4	24	0

(3) 子ども読書カードを利用しているか

利用している	子ども読書カードのことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	子ども読書カードのことを知らなかった
20	7	1

(4) 図書館除籍本（リサイクル本）を利用しているか

利用している	リサイクル本のことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	リサイクル本のことは知らなかった
17	9	2

(5) 図書館見学、職場体験をしているか（実施回数と述べ人数）

実施回数	述べ人数
4	91

(6) 図書館の出前講座（おでかけおはなしの会、読み聞かせ）を利用しているか

利用している	出前講座のことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	出前講座のことは知らなかった
2	22	4

5. 学校司書の先生の司書資格は持っているか

持っている	持っていない
25	2

※欠員1校（菅野小学校）

前回調査（平成29年度）との比較（比較できるもののみ抜粋） ※小学校

蔵書数（冊数）

R5	339,470
H29	491,812

学級文庫数（クラス）

R5	272
H29	239

学級文庫の冊数

R5	15,973
H29	22,889

一回当たりの貸出冊数

	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊	10冊
R5	0	20	5	0	1	1	1
H29	2	16	6	1	1	0	0

一回当たりの貸出期間

	制限なし	7日間	8日間	14日間	30日間
R5	0	22	0	5	1
H29	1	23	1	1	0

貸出実績（冊数）

R5	756,200
H29	897,468

図書館だより発行回数

R5	168
H29	94

※ただしH29年は6カ月間のみの集計

読み聞かせ・全校一斉読書実施回数

	総回数	うち図書室での実施	うち有償による実施	うち無償による実施
R5	5,725	4,933	70	406
H29	8,314	5,558	138	965

読み聞かせボランティア人数

	いない	1～5人	6人～10人	11人～15人	16人～20人	20人以上
R5	7	4	6	5	3	3
H29	4	3	6	3	10	4

団体貸出文庫のセット本を利用しているか

	利用している	利用していない	セット本を知らない
R5	4	24	0
H29	5	21	0

子ども読書カードを利用しているか

	利用している	利用していない	子ども読書カードを知らない
R5	20	7	1
H29	10	15	1

図書館除籍本（リサイクル本）を利用しているか

	利用している	利用していない	リサイクル本を知らない
R5	17	9	2
H29	12	14	0

前回調査との比較からの分析

コロナ禍もあったため、読み聞かせの回数など全体的に、前回調査より下がっている傾向が見られる。セット本、子ども読書カード、リサイクル本の活用は、概ね利用があがっているが、知らないと回答している学校もあるため、利用の周知を徹底したい。

アンケート集計（対象施設：市立中学校 20施設のうち回答18施設）

※上記対象施設のうち、安曇・大野川・奈川は小中学校としてまとめて回答。小学校に集計。

1. 図書資料について

(1) 施設の蔵書数と貸出状況

蔵書数計	学級文庫数	学級文庫の冊数
176,482	43	5,611

(2) 第2次計画策定時と比べて

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
3	6	5	0	1	0

(3) 一回あたりの貸出数

2冊	3冊	5冊	10冊
5	5	3	2

(4) 一回あたりの貸出期間

制限なし	7日間	14日間	30日間	50日間	51日間
0	6	6	1	1	1

(5) 貸出実績（令和4年度 122,250 冊）

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
2	3	1	0	6	3

2. 図書館だよりについて

(1) 図書館だよりの発行回数

おたよりの発行回数
119

(2) 読書に関する情報発信は、第2次計画策定時と比べて増えているか。

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
1	2	29	3	1	0

3. 令和4年度の読み聞かせ・全校一斉読書について

(1) 読み聞かせ・全校一斉読書の実施回数など

実施回数	図書室で行った実施回数	外部講師（有償）による実施	ボランティア（無償）による実施
2,447	365	1	26

(2) 読み聞かせボランティアの人数について

いない	4人	6人	7人	10人
10	1	1	2	1

4. 令和4年度の松本市図書館の利用について

(1) 団体貸出文庫の利用について

利用回数	団体用資料利用冊数
10	138

(2) 団体貸出文庫のセット本を利用しているか

利用している	セット本のことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	セット本のことは知らなかった
1	14	0

(3) 子ども読書カードを利用しているか

利用している	子ども読書カードのことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	子ども読書カードのことを知らなかった
10	5	0

(4) 図書館除籍本（リサイクル本）を利用しているか

利用している	リサイクル本のことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	リサイクル本のことは知らなかった
6	9	0

(5) 図書館見学、職場体験をしているか（実施回数と述べ人数）

実施回数	述べ人数
3	8

(6) 図書館の出前講座（おでかけおはなしの会、読み聞かせ）を利用しているか

利用している	出前講座のことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	出前講座のことは知らなかった
0	10	5

5. 学校司書の先生の司書資格は持っているか

持っている	持っていない
12	3

前回調査（平成29年度）との比較（比較できるもののみ抜粋） ※中学校

蔵書数（冊数）

R5	176,482	※安曇・大野川・奈川は小中学校併せての報告のため、小学校へ集計している
H29	236,099	

学級文庫数（クラス）

R5	43
H29	49

学級文庫の冊数

R5	5,611
H29	1,416

一回当たりの貸出冊数

	制限なし	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	10冊
R5	0	0	5	5		3	2
H29	1	1	8	0	4	4	1

一回当たりの貸出期間

	制限なし	7日間	14日間	28日間	30日間	50日間	51日間
R5	0	6	6	0	1	1	1
H29	1	12	2	1	3	0	0

貸出実績（冊数）

R5	122,250
H29	172,998

図書館だより発行回数

R5	119
H29	67

※ただしH29年は6カ月間のみの集計

読み聞かせ・全校一斉読書実施回数

	総回数	うち図書室での実施	うち有償による実施	うち無償による実施
R5	2,447	365	1	26
H29	1,525	278	10	49

読み聞かせボランティア人数

	いない	1～5人	6人～10人
R5	10	1	4
H29	10	4	5

団体貸出文庫のセット本を利用しているか

	利用している	利用していない	セット本を知らない
R5	1	14	0
H29	0	18	1

子ども読書カードを利用しているか

	利用している	利用していない	子ども読書カードを知らない
R5	10	5	0
H29	5	13	1

図書館除籍本（リサイクル本）を利用しているか

	利用している	利用していない	リサイクル本を知らない
R5	6	9	0
H29	8	10	1

前回調査との比較からの分析

コロナ禍であったが、読み聞かせの回数などは前回調査より上がっている傾向が見られる。朝読書などの回数が前回調査時より増えたのではないかと推測する。

セット本、子ども読書カード、リサイクル本の活用は、概ね利用があがっている。知らないと回答した学校がないため、周知は徹底していると思われるが、引き続き利用の働きかけを行う。

アンケート集計（対象施設：保育園・幼稚園 44施設のうち回答36施設）

1. 施設で所蔵する子どものための絵本などの資料（以下、「児童書等」という）について

(1) 施設の蔵書数と貸出状況

蔵書数計	うち貸出対象	職員用
43,117	34,615	5,611

(2) 第2次計画策定時と比べて

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
3	15	14	3	1	0

(3) 図書館除籍本（リサイクル本）を利用しているか

利用している	リサイクル本のことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	リサイクル本のことは知らなかった
29	7	0

(4) 子ども読書カードを利用しているか

利用している	子ども読書カードのことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	子ども読書カードのことを知らなかった
9	26	1

(5) 貸出の状況・一回あたりの貸出冊数

貸出している	館内閲覧のみ	貸出数制限なし	1冊	2冊
36	0	1	34	1

(6) 一回あたりの貸出期間

制限なし	3日間	4日間	5日間	6日間	7日間
2	10	13	7	2	2

(7) 貸出状況は、第2次計画策定時と比べて増えているか

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
1	4	28	0	1	2

2. 家庭に向けて発行しているおたよりについて

(1) おたよりの発行回数と読書情報発信回数

おたよりの発行回数	うち読書関係の情報発信数
459	147

(2) 読書に関する情報発信は、第2次計画策定時と比べて増えているか。

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
1	2	29	3	1	0

3. 令和4年度の読み聞かせ・おはなし会について

(1) 読み聞かせ・おはなし会の実施回数など

実施回数	個別(クラス毎)で行った実施回数	外部講師（有償）による実施	ボランティア（無償）による実施
2,646	16,188	5	120

(2) 読み聞かせ・おはなし会の回数は、第2次計画策定時と比べて増えているか。

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
0	1	19	7	5	4

4. 令和4年度の講演会・講座について

(1) 講演会・講座の実施回数など

実施回数	うち読書に関する講座等
29	3

(2) 講演会・講座の回数は、第2次計画策定時と比べて増えているか。

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
0	1	17	12	4	2

(3) 図書館の出前講座（おでかけおはなしの会、読み聞かせ）を利用しているか

利用している	出前講座のことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	出前講座のことは知らなかった
3	27	6

前回調査（平成29年度）との比較（比較できるもののみ抜粋） ※保育園

蔵書数（冊数）

	蔵書数	うち貸出対象	職員用
R5	43,117	34,615	5,611
H29	37,139	31,455	3,017

図書館除籍本（リサイクル本）を利用しているか

	利用している	利用していない	リサイクル本を知らない
R5	29	7	0
H29	26	11	0

子ども読書カードを利用しているか

	利用している	利用していない	子ども読書カードを知らない
R5	9	26	1
H29	11	25	1

貸出の状況

	貸出している	館内閲覧のみ
R5	36	0
H29	36	1

※錦部保育園・奈川保育園休園

一回当たりの貸出冊数

	制限なし	1冊	2冊
R5	1	34	1
H29	0	34	2

一回当たりの貸出期間

	制限なし	2日間	3日間	4日間	5日間	6日間	7日間
R5	2	0	10	13	7	2	2
H29	0	3	13	12	5	0	3

おたよりの発行回数と読書情報発信回数

	発行回数	うち発信回数
R5	459	147
H29	244	88

※ただしH29年は6カ月間のみの集計

読み聞かせ・おはなし会の実施回数

	実施回数	個別実施回数	うち有償による実施	うち無償による実施
R5	2,646	16,188	5	120
H29	161	24,534	15	184

講演会・講座について

	実施回数	うち読書に関する講座
R5	29	3
H29	34	5

出前講座を利用しているか

	利用している	利用したことがない	出前講座を知らない
R5	3	27	6
H29	3	32	2

前回調査との比較からの分析

コロナ禍のため、個別のおはなし会や講演会などは前回調査時よりも回数が減少している。
 リサイクル本の活用、子ども読書カードの利用は前回とあまり利用に変動がなく、出前講座は利用が横ばいとなっている。コロナ禍の影響も考えられるが、今後、各施設に利用促進を促していく必要があると考える。

アンケート集計（対象施設：児童センター・児童館・放課後児童クラブ・こどもプラザ 36施設のうち回答12施設）

1. 施設で所蔵する子どものための絵本などの資料（以下、「児童書等」という）について

(1) 施設の蔵書数と貸出状況

蔵書数計	うち貸出対象	職員用
10,853	6,252	353

(2) 第2次計画策定時と比べて

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
1	9	2	0	0	0

(3) 図書館除籍本（リサイクル本）を利用しているか

利用している	リサイクル本のことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	リサイクル本のことは知らなかった
6	5	1

(4) 子ども読書カードを利用しているか

利用している	子ども読書カードのことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	子ども読書カードのことを知らなかった
4	5	3

(5) 貸出の状況・一回あたりの貸出冊数

貸出している	館内閲覧のみ	図書コーナーがない
6	6	0

貸出数制限なし	1冊	4冊
1	1	4

(6) 一回あたりの貸出期間

制限なし	7日間	30日間
1	4	1

(7) 貸出状況は、第2次計画策定時と比べて増えているか

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
1	2	2	1	0	0

2. 家庭に向けて発行しているおたよりについて

(1) おたよりの発行回数と読書情報発信回数

おたよりの発行回数	うち読書関係の情報発信数
151	11

(2) 読書に関する情報発信は、第2次計画策定時と比べて増えているか。

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
0	1	8	3	0	0

3. 令和4年度の読み聞かせ・おはなし会について

(1) 読み聞かせ・おはなし会の実施回数など

実施回数	外部講師（有償）による実施	ボランティア（無償）による実施
858	23	77

(2) 読み聞かせ・おはなし会の回数は、第2次計画策定時と比べて増えているか。

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
0	3	6	2	0	1

4. 令和4年度の講演会・講座について

(1) 講演会・講座の実施回数など

実施回数	うち読書に関する講座等
74	11

(2) 講演会・講座の回数は、第2次計画策定時と比べて増えているか。

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
0	1	9	1	0	1

(3) 図書館の出前講座（おでかけおはなしの会、読み聞かせ）を利用しているか

利用している	出前講座のことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	出前講座のことは知らなかった
6	5	1

※児童センター等については、前回調査時にアンケートではなく、図書コーナーなどのについての聞き取り調査を行ったのみのため、比較できるデータがありません。

アンケート集計（対象施設：保健センター 4施設のうち回答4施設）

1. 施設で所蔵する子どものための絵本などの資料（以下、「児童書等」という）について

(1) 施設の蔵書数と貸出状況

蔵書数計	うち貸出対象	職員用
316	0	0

(2) 第2次計画策定時と比べて

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
0	0	4	0	0	0

(3) 図書館除籍本（リサイクル本）を利用しているか

利用している	リサイクル本のことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	リサイクル本のことは知らなかった
1	3	0

(4) 貸出のルール

貸出している	館内閲覧のみ	図書コーナーがない
0	4	0

2. ブックスタート・セカンドブック事業の課題について

(1) ブックスタート事業の課題

特になし

(2) セカンドブック事業の課題

欠席者への後日お渡しに関して、中央図書館以外の図書館でも本をお渡しできるような体制をとることは可能か

3. 3歳児健診時の読み聞かせ等について

(1) 3歳児健診の待ち時間に読み聞かせの実施・回数

実施している	実施していない	実施回数
1	3	5

4. 1歳6カ月健診での事業

(1) 保育士による読み聞かせや手遊びの実施

実施している	実施していない
4	0

※保健センター等については、前回調査時にアンケートではなく、子ども読書活動にのための現状と課題について聞き取り調査を行ったのみのため、比較できるデータがありません。

アンケート集計（対象施設：公民館 36施設のうち回答15施設）

1. 施設で所蔵する子どものための絵本などの資料（以下、「児童書等」という）について

(1) 施設の蔵書数と貸出状況

蔵書数計	うち貸出対象	職員用
10,858	4,225	87

(2) 第2次計画策定時と比べて

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
0	6	4	5	0	0

(3) 図書館除籍本（リサイクル本）を利用しているか

利用している	リサイクル本のことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	リサイクル本のことは知らなかった
9	6	0

(4) 団体貸出文庫を利用しているか

活用している	団体貸出文庫のことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	団体貸出文庫のことを知らなかった
3	9	3

(5) 貸出の状況・一回あたりの貸出冊数

貸出している	館内閲覧のみ	図書コーナーがない
7	3	5

貸出数制限なし	1冊	2冊
3	2	2

(6) 一回あたりの貸出期間

制限なし	14日間	27日間
2	4	1

(7) 貸出状況は、第2次計画策定時と比べて増えているか

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
1	0	6	7	0	1

2. 家庭に向けて発行している公民館報について

(1) 公民館報の発行回数と読書情報発信回数

公民館報の発行回数	うち読書関係の情報発信数
165	36

(2) 読書に関する情報発信は、第2次計画策定時と比べて増えているか。

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
0	1	6	7	1	0

3. 令和4年度の読み聞かせ・おはなし会について

(1) 読み聞かせ・おはなし会の実施回数など

実施回数	外部講師（有償）による実施	ボランティア（無償）による実施
35	4	31

(2) 読み聞かせ・おはなし会の回数は、第2次計画策定時と比べて増えているか。

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
0	1	6	6	0	2

(3) 図書視聴覚委員の人数

0人	2人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	20人
4	1	1	4	1	1	1	1	1

(4) 図書視聴覚委員の仕事

- ・ 借り入れ図書の選定、図書の紹介 ・ おはなし会の開催、図書コーナーの整備
- ・ 読み聞かせの実施 ・ 団体図書の入れ替え
- ・ 年1回の「映画と語りの会」の企画・年2回の図書だより(全戸配布)の発行・図書の購入、配架等、図書の管理
- ・ 公民館内の図書整理 ・ 図書の入替作業を年2回実施
- ・ 夏休みおはなし会スペシャル、クリスマスおはなし会スペシャルの企画・寿台図書館蔵書点検の手伝い
- ・ 寿台文化祭でのリサイクル本配布ブースの運営 ・ 内田公民館図書コーナーの整備
- ・ 年4回、「本郷図書だより」を執筆・発行。本郷図書館除籍本の除籍作業、分類、文化祭での頒布。
- ・ 本郷図書館事業への協力。図書委員会独自の文化講演会の実施。
- ・ 「四賀地区図書だより」発行、新着図書の紹介、「図書室談義」開催、季節の絵本の紹介

4. 令和4年度の講演会・講座について

(1) 講演会・講座の実施回数など

実施回数	うち読書に関する講座等	うち読み聞かせボランティア育成の講座
420	5	1

(2) 講演会・講座の回数は、第2次計画策定時と比べて増えているか。

とても増えた	少し増えた	ほぼ変わらない	全く同じ	少し減った	とても減った
0	1	7	6	1	0

(3) 図書館の出前講座（おでかけおはなしの会、読み聞かせ）を利用しているか

利用している	出前講座のことは知っているが、これまで一度も利用したことはない	出前講座のことは知らなかった
0	11	4

前回調査（平成29年度）との比較（比較できるもののみ抜粋） ※公民館

蔵書数（冊数）

	蔵書数	うち貸出対象	職員用
R5	10,858	4,225	87
H29	14,714	13,578	188

図書館除籍本（リサイクル本）を利用しているか

	利用している	利用していない	リサイクル本を知らない
R5	9	6	0
H29	11	12	7

団体貸出文庫を利用しているか

	利用している	利用していない	団体貸出を知らない
R5	3	9	3
H29	13	7	10

貸出の状況

	貸出している	館内閲覧のみ	図書コーナーがない
R5	7	3	5
H29	24	1	5

一回当たりの貸出冊数

	制限なし	1冊	2冊	3冊	5冊	10冊
R5	3	2	2	0	0	0
H29	12	1	0	2	6	3

一回当たりの貸出期間

	制限なし	10日間	14日間	21日間	27日間	1カ月	3カ月
R5	2	0	4	0	1	0	0
H29	8	1	12	1	0	1	1

公民館報の発行回数と読書情報発信回数

	発行回数	うち発信回数
R5	165	36
H29	139	19

※ただしH29年は6カ月間のみの集計

読み聞かせ・おはなし会の実施回数

	実施回数	うち有償による実施	うち無償による実施
R5	35	4	31
H29	117	7	11

図書視聴覚委員の人数

	0人	2人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上
R5	4	1	0	1	4	1	1	1	2
H29	4	1	2	4	3	7	3	1	5

講演会・講座について

	実施回数	うち読書に関する講座	うち読み聞かせボラ育成講座
R5	420	5	1
H29	524	25	3

出前講座を利用しているか

	利用している	利用したことがない	出前講座を知らない
R5	0	11	4
H29	0	15	15

前回調査との比較からの分析

回答施設数が前回調査より少ないため、各項目の回数が少ない関係もあるが、やはりコロナ禍の影響のためか、おはなし会や講演会、講座などの回数が減少している。

団体貸出の利用などもコロナ禍の影響のためか減少している。リサイクル本の活用は知らないと回答している施設がないため、周知はできていると思われる。

出前講座について、利用がないため公民館と連携していく必要があると考えられる。